

平成22年度報告

平成21年度

南部町教育委員会の事務の点検及び評価報告書

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第27条の規定に基づき、教育に関する事務が南部町教育施策の方針に基づいて適切に実施されているか点検するとともに、その成果及び課題等について自ら評価し、報告するものです。

南部町教育委員会

まえがき

南部町教育委員会では、「豊かで潤いのある生涯学習社会の形成に向けて、心身ともに健康で豊かな情操と優れた創造力、たくましい実践力を持ち、郷土の発展につくす人材の育成」に努め、学習環境の整備に取り組んでいます。

こうした取り組みは、これまでも広報などを通じて町民の皆様にお知らせしてきたところですが、平成19年6月に、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」が改正され、教育委員会は、毎年、その権限に属する事務の管理及び執行について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を議会に提出するとともに公表することとされました。

このため、南部町教育委員会では、今後の効率的で効果的な教育行政を推進し、町民の皆様へ説明責任を果たすことを目的に外部の学識経験者などから意見を伺いながら、教育委員会の事務の点検及び評価を実施し、このたび、その結果を報告書としてまとめました。

南部町教育委員会では、今後も「個を生かし生きる力と学ぶ力や夢をはぐくむ学校教育の推進」「生きがいのある人生と、豊かで住み良い地域社会を実現する社会教育の推進」「未来へ伝える貴重な文化財の保存・活用」を目指し、地域の伝統と特性を生かした教育行政の推進に努めて参りますので、町民の皆様のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

平成23年3月

南部町教育委員会

点検評価アドバイザー(学識経験者)による意見

南部町教育委員会の事務の点検及び評価報告書を、南部町の教育方針、学校教育指導の方針と重点および社会教育指導の方針と重点にかんがみ、拝見したので、所見の一端を述べます。

はじめに、特記すべき事項として

1. 「特色ある学校づくり」として、町当局が厳しき財政事情にもかかわらず、町独自の支援を実施していること、教育にかける並々ならぬ心意気を感じる。
2. 度重なる教育改革や教育思潮から、「開かれた学校...」とか「特色ある学校づくり...」等への理解を一層深めることや変遷する学習指導要領から「不易と流行」を読みとり、「不易」なる事項への重点化と流行とのバランスを図ることが一層求められる。
3. 「子育ては社会総がかり」への啓発活動と「生涯学習社会」の具現化に一層努める。

具体的には、

1. 町民の声・ニーズをアンケート等の手法で収集し、事業のマンネリ化防止、事業のスリム化や重点化および運営等に生かしている。
2. 教育委員会内部における事業の狙い・目的等にかんがみ、統合化等がわずかながら進められている。事業数が多少減じている。
この事については、町当局における事業との重複などを吟味する必要がある。
3. 諸事業の開催時期については、一層の吟味が必要である。また、運営等については、高度な研究を要するものもあり、町当局との話し合いも必要と考える。
4. 各事業の広報活動と申し込みの簡易化の工夫が必要である。
5. 事業によっては、参加人数の減少による評価は、本来の狙い・目的を逸脱する可能性がある。活動内容等々をよく見届ける必要がある。
6. 「特色ある学校経営」について、学校教育の最大の責務、生きる力としての基礎学力の向上に果敢に挑戦している学校も見受けられる。
7. 「特色ある学校経営」について、「学校教育の最大の責務は何か？」を常に変遷する学習指導要領から、不易と流行を読みとることで、一目瞭然。不易なる「基礎学力の向上」を

最重点に、流行とのバランスを取る。それに見合う時間や経費を手当てしているかの視点を大事にする。ややもすれば、流行に目が奪われバランスを欠く傾向が無きにしても非ず、注意が必要である。

終わりに

1. 学校教育においては、各種の資料をもとに落ち込みへ、即、手を打ち、回復を目指すこと。この繰り返しこそ日々の教育活動である。低学力対策は必須事項である。
2. 学校教育と社会教育(家庭教育・企業内教育を含む)を連携することで、一層教育成果を高めることが可能であり、町内がいよいよ活気づく。さらなる発展が期待される。

南部町教育委員会の事務の点検評価アドバイザー

平 山 幹 雄

工 藤 光 行

目 次

点検及び評価の概要 P . 1
点検及び評価のイメージ図 P . 2
南部町教育方針 P . 3 ~ 9
1 . 学校教育指導の方針と重点 P . 3 ~ 6
2 . 社会教育指導の方針と重点 P . 7
3 . 文化財保護行政の方針と重点 P . 8
4 . 学校給食重点目標 P . 9
教育委員会事務の点検及び評価に関する事務事業一覧表 P . 10 ~ 12
事務事業毎個別評価の観点 P . 13
事務事業毎個別評価表 P . 14 ~ 37
平成21年度教育委員会活動の状況 P . 38 ~ 42
1 . 教育委員名簿 P . 38
2 . 教育委員会会議の状況 P . 39 ~ 41
3 . その他の活動 P . 42
教育委員会事務局の活動の状況 P . 43 ~ 46
1 . 教育委員会の事務局の組織の状況 P . 43
2 . 教育委員会の事務局の活動の状況 P . 43 ~ 44
3 . 教育施設の状況 P . 45
4 . 教育関係予算の状況 P . 46
南部町立小中学校児童生徒の状況 P . 47 ~ 55
1 . 児童生徒の学力(全国学力調査) P . 47
2 . 児童生徒の生活の状況(全国学習調査) P . 48 ~ 52
3 . 町立小中学校の「特色ある学校経営」事業の目的と実績 P . 53 ~ 55

点検及び評価の概要

- (1) 経緯 地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部を改正する法律(平成19年法律第97号)により、平成20年4月1日から、教育委員会は毎年、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出することが義務づけられた。また、同法の規定により、点検及び評価結果は公表することとされました。

参考 (教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等)
第27条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務(前条第1項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務(同条第3項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。))を含む。)の管理及び執行の状況について、点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

- (2) 点検評価の対象 南部町教育方針にある教育施策の重点に基づいて行う事業。

- (3) 点検評価の方法 次の手順で点検及び評価を行った。

内部評価

事業担当課による点検及び評価

・各事業担当課が評価シートを作成し、実施状況についてをまとめ各課で評価した。

教育委員会による点検及び評価

・各事業担当課がまとめ各課で評価したものについて、事業の妥当性について評価。

学識経験者の知見の活用

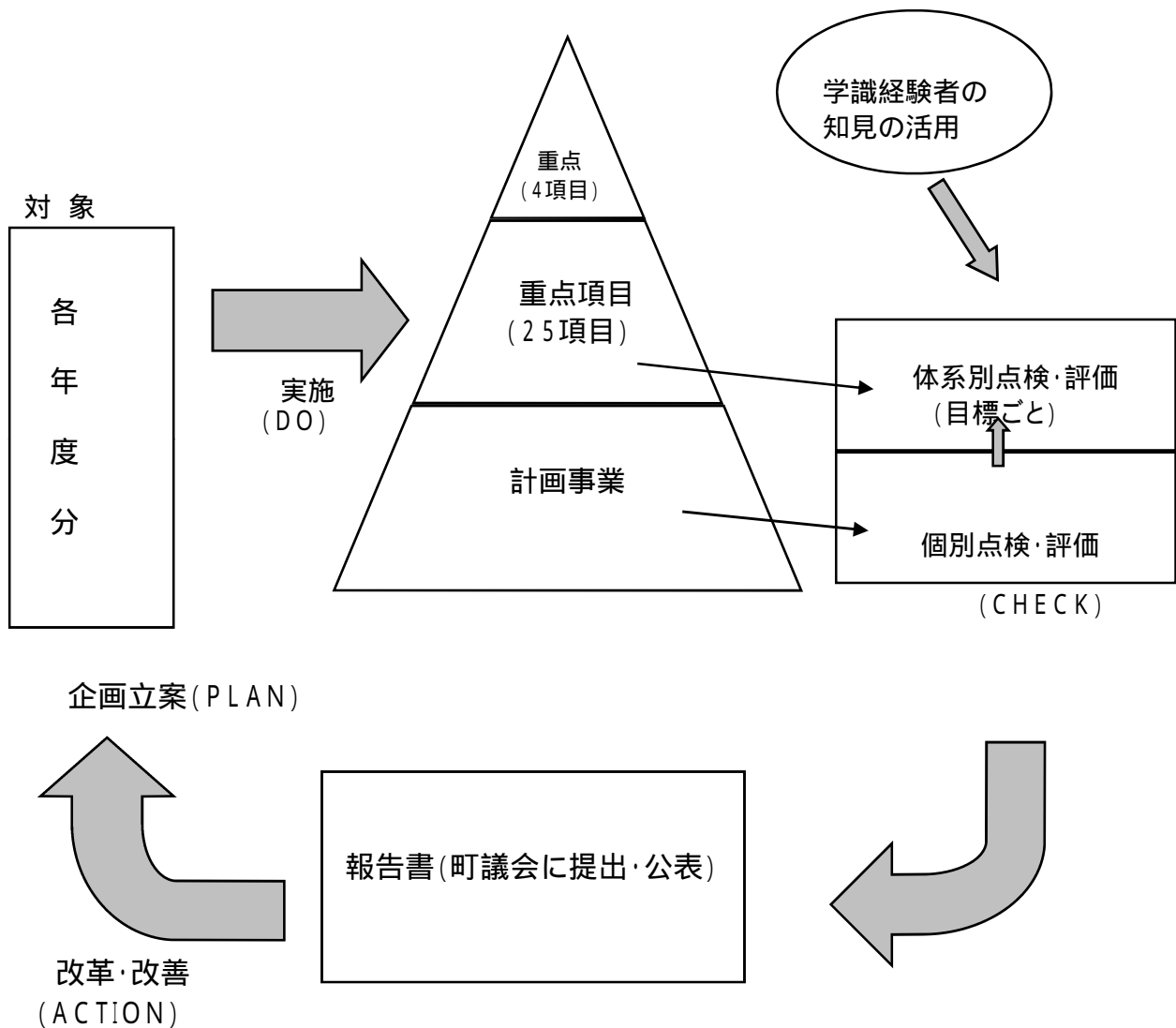
内部評価について、教育に関し学識経験を有する者から意見を聴取した。

- (4) 平成21年度点検評価アドバイザー

氏名	団体・役職
平山幹雄氏	元青森県教育委員会西北教育事務所所長 元八戸市立第一中学校校長 八戸市教育委員会委員
工藤光行氏	元南部町教育委員会参事社会教育課長 南部町歴史研究会事務局 青森県剣道連盟理事

事務事業の点検及び評価とは

事務事業の評価は、町教育委員会が行っている仕事について、点検と評価を行い、必要に応じて事業の取り組み方法等を見直して、次の仕事の取り組みに生かしていくものです。



事務事業の企画立案 (PLAN)、実施 (DO)、点検・評価 (CHECK)、改革・改善 (ACTION) を継続して行うことで、より効率的で質の高い事務事業の実現を図っていきます。

南部町教育方針

基本方針

南部町教育委員会は、青森県教育委員会及び三八教育事務所、関係機関、諸団体との連携を図り、豊かで潤いのある生涯学習の形成に向けて、「心身ともに健康で豊かな情操とすぐれた創造力、たくましい実践力を持ち、郷土の発展につくす人材の育成」に努める。

教育目標

1. 町民の連携意識を高めながら、豊かな心と広い視野を持ち、積極的に郷土の発展に貢献することのできる品性豊かな町民の育成に努める。
2. 時代の変化に対応しながら、自分の生活に目標を持ち、豊かな情操と創造力・実践力を磨きながら生涯学び続け、社会参加のできる町民の育成に努める。
3. スポーツに親しみながら、自分の体力と健康に関心を持ち、自主的に健康で安全な生活を営むことのできる町民の育成に努める。

教育施策の重点

1. 学校教育においては、主体的な学習態度を育て、基礎・基本的学力の定着や考える力を身につけさせ、夢を育む教育を推進する。
また、町内小中学校へ「特色ある学校づくり」のために町独自の支援を行う。
2. 社会教育においては、いつでも、どこでも、誰でもが学べる生涯学習体制の確立を区るとともに、学社融合事業と家庭教育の充実に努める。
3. 社会体育においては、スポーツ活動の振興やニュースポーツの普及と実践化を図るとともに、日常生活での体力づくりを推進する。
4. 文化活動においては、芸術文化活動の奨励や育成を図るとともに、伝統文化の継承育成や未来に伝える貴重な文化財の保存・活用に努める。

学校教育指導の方針と重点

1. 方針

知・徳・体の調和の取れた人間性豊かな幼児・児童・生徒を育成するため、教育は人づくりという原点に立って、学校経営に創意工夫をこらし、個を生かし生きる力と夢をはぐくむ学校教育の推進に努める。

2. 重点

(1) 授業の充実

一人一人の子どもが、各教科及び総合的な学習の時間等に主体的に取り組み、確かな学力を身に付けることができるよう、言語活動の充実を図りながら、一人一人の能力・適性に応じた指導と学習習慣の育成に努める。

- ア 基礎的・基本的内容に即した教材の工夫と教材研究の深化
- イ 個に応じた学習過程と評価を重視した指導の工夫
- ウ 自ら課題を見つけ、よりよく問題を解決する力を身に付ける指導の工夫
- エ 主体的・体験的な学習のための環境作りの充実

(2) 道徳教育の充実

一人一人の子どもが、人間尊重の精神と生命に対する畏敬の念を具体的な生活の中に生かし得るよう、道徳性の育成に努める。

- ア 道徳的実践力を高める指導の工夫
- イ 豊かな心をはぐくむ体験活動の推進
- ウ 郷土に関する資料の開発と活用

(3) 特別活動の充実

一人一人の子どもが、望ましい集団や豊かな体験の中で互いの個性を認め合い、協力してよりよい生活や人間関係を築いていくことができるよう、自主的、実践的な態度の育成に努める。

- ア 自主的な態度を育てる学級活動・ホームルーム活動の工夫
- イ 自治的な意識を高める児童会活動・生徒会活動の工夫
- ウ 児童の個性の伸長と触れ合いを深めるクラブ活動の工夫
- エ 感動や連帯感を高める学校行事の工夫

(4) 体育・健康教育の充実

一人一人の子どもが、生涯にわたり自ら進んで運動に親しみ、健康・安全で活力のある生活を送ることができるよう、心と体を一体としてとらえ、健康でたくましい体をはぐくむ教育の推進に努める。

- ア 運動に親しむ資質や能力を育て、運動の楽しさや喜びを味わわせる指導の充実
- イ 運動の習慣化を図る指導の充実
- ウ 体力の向上を図る指導の充実
- エ 保健指導の充実
- オ 安全指導の充実
- カ 食に関する指導の充実

(5) 生徒指導の充実

一人一人の子どもが、豊かな生活を送ることができるよう、家庭や地域社会及び関係機関等との連携を図りながら、心の結びつきを基調とした指導を行うとともに、問題行動等の未然防止、早期発見、早期対応に努める。

- ア 基本的な生活習慣や自己指導能力を育成する協同指導体制の充実
- イ 生徒指導の機能を生かした学年・学級・ホームルーム経営の充実
- ウ 児童理解・生徒理解に基づいた教育相談の充実

(6) 進路指導の充実

一人一人の子どもが、自らの生き方を考え、主体的に進路を選択できるよう、計画的、組織的、継続的な指導に努める。

- ア 進路指導体制の充実
- イ 学級活動・ホームルーム活動における進路指導の充実
- ウ 児童生徒の発達段階に応じた勤労観・職業観の育成

(7) 特別支援教育の充実

発達障害を含む障害のある子どもが、障害による学習上又は生活上の困難を主体的に改善克服するとともに、その持てる力を最大限に発揮して自立や社会参加ができるよう、一人一人の教育的ニーズを把握し、適切な指導及び必要な支援に努める。

- ア 校内支援体制の整備・充実
- イ 個別の指導計画の作成と活用による指導の充実
- ウ 個別の教育支援計画の策定と活用による関係機関と連携した支援の充実
- エ 交流及び共同学習の推進

(8) 環境教育の推進

一人一人の子どもが、環境と人間のかかわりについて関心と理解を深め、環境に対する豊かな感受性を養うことができるよう、環境保全に主体的に取り組む態度の育成に努める。

- ア 教科等間の連携を踏まえた指導の工夫
- イ 地域の環境の実態に即した指導の工夫
- ウ 環境にかかわる体験学習の推進

(9) 国際化に対応する教育の推進

一人一人の子どもが、我が国や諸外国の文化と伝統について関心と理解を深めるとともに、国際社会に貢献できるよう、国際理解教育の推進に努める。

- ア 郷土に対する愛着と誇りを涵養する教育の推進
- イ 外国語指導助手等の活用や言語活動の工夫・充実によるコミュニケーション能力の育成
- ウ 異なった文化や習慣を持つ人々との交流の推進

(10) 情報化に対応する教育の推進

一人一人の子どもが、情報活用能力を身に付けることができるよう、情報モラルにかかわる指導の充実を図り、系統的・体系的な情報教育の推進に努める。

- ア 情報教育を推進する指導体制の整備・充実
- イ 学習指導におけるコンピュータ等の適切な活用の推進
- ウ 情報通信ネットワーク等を適切に活用した教育の推進

(11) 研修の充実

教職の専門性を高め、教育活動の充実を図るため、計画的・積極的な研修の推進に努める。

- ア 校内研修体制の整備・充実
- イ 学校の教育課題解決のための実践的研究の充実
- ウ 地域と連携した特色ある教育活動の研究・推進
- エ 教育要領・学習指導要領に基づく実践的研究の充実

(12) 複式教育の充実

少人数の特性を生かし、一人一人の個性・能力の伸長を図るとともに、社会性の育成に努める。

- ア 学校運営・学級運営の創意工夫
- イ 複式指導の充実

(13) 幼稚園教育の充実

一人一人の「自立の態度」を育成するために、心身の発達の実情をよく理解し、自発的な活動を促す指導の充実に努める。

- ア 調和と統一のある教育課程の編成
- イ 実態に即した指導計画の整備
- ウ 「自立と協同の態度」を育成する指導の工夫

社会教育指導の方針と重点

1. 方針

社会の変化に対応しながら、ライフステージに応じて、自己の啓発・向上をめざし、生きがいのある人生と豊かで住みよい地域社会を実現する社会教育の推進に努める。

2. 重点

(1) 社会教育推進体制の充実

- ア ライフステージに応じた社会教育の基盤整備・充実に努める。
- イ 社会教育、学校教育、家庭教育の融合による教育活動の推進に努める。
- ウ 地域教育力の向上に資する人材の育成に努める。
- エ 学習情報の収集・提供及び学習相談の体制の充実に努める。

(2) 多様な学習機会の拡充

- ア 家庭教育の支援と学習活動の推進に努める。
- イ 青少年の豊かな人間性を育む学習活動の推進に努める。
- ウ 学習者が自発的に学習する体制整備に努める。
- エ 子どもの読書活動の充実に努める。

(3) 社会教育施設等の機能の充実

- ア 社会教育施設の整備充実及び活用の促進に努める。
- イ 多様な学習要求に対応する公民館活動の推進に努める。
- ウ 社会教育団体や学習グループ、サークル等の活動支援に努める。

(4) 多様な生涯スポーツの振興

- ア 社会体育施設の整備充実及び活用促進に努める。
- イ スポーツ・レクリエーション指導者の養成と活用促進に努める。
- ウ スポーツ・レクリエーション 活動の普及促進に努める。
- エ スポーツ関係団体の育成と活動の推進に努める。

文化財保護行政の方針と重点

1. 方針

郷土に対する愛着と誇りを培い、うるおいのある町民生活を実現するため、未来へ伝える貴重な文化財の保存・活用に努める。

2. 重点

(1) 文化財の保護・保存

- ア 文化財調査や記録作成を行い、国・県及び町の文化財指定を進める。
- イ 指定文化財の保存・修理及び防災施設等の支援に努める。
- ウ 様々な機会・手段を通じて文化財保護思想の普及・啓発に努める。
- エ 国指定重要文化財「南部利康霊屋」の保存管理に努める。
- オ 国指定史跡「聖寿寺館跡」の保存管理に努める。
- カ 国登録有形文化財「田中家住宅主屋・米蔵・門」及び「村井家住宅主屋」の保存支援に努める。

(2) 文化財の整備・活用

- ア 国・県及び町指定文化財や関連施設をネットワーク化し広域的活用を進めるとともに、情報発信に努める。
- イ 史跡聖寿寺館跡の土地公有化事業と発掘調査事業を進め、整備と活用に努める。
- ウ 南部氏関連史跡の調査研究活動と多様な活用に努める。

(3) 伝統芸能・技術の継承

- ア 伝統芸能の保存及び後継者の育成支援に努める。
- イ 伝統芸能の発表機会の充実に努める。
- ウ 子どもの伝統芸能伝承活動の推進に努める。

学校給食重点目標

- (1) より安全、安心のおいしい給食を目指します。
- (2) 栄養バランスのとれた食事内容の充実をはかります。
- (3) 手作りの料理を心がけます。
- (4) 伝統食、郷土食を取り入れ、季節感を大切にします。
- (5) 地元の産物を活用しながら、地域との連携を大切にします。

H20年度 教育委員会事務の点検及び評価に関する事務事業一覧

シートNo. 1

整理番号	事務事業名	説明ページ	担当課・所
1	心の教室相談員・スクールサポーター配置事業	P. 14	学務課
2	スクールカウンセラー事業	〃	〃
3	小学校国内交流事業	〃	〃
4	就学指導委員会委託事業	P. 15	〃
5	就学援助事業	〃	〃
6	学校の芸術文化活動事業	〃	〃
7	学校施設管理事業	P. 16	〃
8	奨学金貸付事業	〃	〃
9	特別支援教育就学奨励費事業	〃	〃
10	中学生海外派遣事業	P. 17	〃
11	外国語指導助手配置事業	〃	〃
12	教職員研修事業(国県財団主催)	〃	〃
13	学校施設耐震化事業	P. 18	〃
14	統合学校給食センター整備事業	〃	〃
15	幼稚園就園奨励費補助事業	〃	幼稚園
16	教育課程(名川幼稚園)	P. 19	〃
17	教育課程(南部幼稚園)	〃	〃
18	発表会(おゆうぎ会)(名川幼稚園)	〃	〃
19	生活発表会(南部幼稚園)	P. 20	〃
20	お泊り保育(名川幼稚園)	〃	〃
21	お泊り保育(南部幼稚園)	〃	〃
22	運動会(名川幼稚園)	P. 21	〃
23	運動会(南部幼稚園)	〃	〃
24	体験活動(動植物の飼育・栽培)(名川幼稚園)	〃	〃
25	学校と地域ネット推進事業	P. 22	社会教育課
26	文化賞・スポーツ賞表彰	〃	〃

整理番号	事務事業名	説明ページ	担当課・所
27	学校支援地域本部事業(国委託事業)	P. 22	社会教育課
28	食の歴史と体験学習	P. 23	〃
29	女性学級	〃	〃
30	家庭教育セミナー	〃	〃
31	ふるさと「楽習」キャンプ	P. 24	〃
32	家庭教育講座	〃	〃
33	成人式	〃	〃
34	南部ふるさと塾	P. 25	〃
35	南部七唄七踊り全国大会	P. 26	史跡対策室・社会教育課
36	町内文化財パトロール事業	〃	〃
37	国史跡「聖寿寺館跡」の発掘調査	〃	〃
38	国史跡「聖寿寺館跡」の活用(見学・体験発掘)	P. 27	〃
39	奥州街道の整備	〃	〃
40	伝統芸能・技術の継承事業	〃	〃
41	アロマフィットネス講座	P. 28	公民館
42	着付け教室	〃	〃
43	おもしろ体験教室	〃	〃
44	英会話教室	〃	〃
45	書道教室	P. 29	〃
46	I.T講習	〃	〃
47	読み聞かせ教室	〃	〃
48	趣味の教室	〃	〃
49	町民運動会	P. 30	体育館
50	うぐいすマラソン大会	〃	〃
51	南部町縦断駅伝競走大会	〃	〃
52	第4回町民歩け歩け運動大会	P. 31	〃

整理番号	事務事業名	説明ページ	担当課・所
53	第4回町民歩け歩け運動大会	P.31	体育館
54	ニュースポーツフェスティバル	〃	〃
55	ナイトスポーツ大会(ユニホック・軟式バレー大会)	〃	〃
56	ニュースポーツinスクール	P.32	〃
57	ニュースポーツ移動教室	〃	〃
58	転倒・寝たきり予防教室	P.33	B & G海洋センター
59	水に賢い子どもを育む年間型活動プログラム(名久井小学校)	〃	〃
60	水に賢い子どもを育む年間型活動プログラム(名川南小学校)	〃	〃
61	マリンスポーツ体験学習	P.34	〃
62	B & G海洋体験セミナー	〃	〃
63	B & G会長杯三戸郡下中学校バレーボール大会	〃	〃
64	B & Gスポーツ大会青森県大会	P.35	〃
65	B & Gクリーンフェスティバルinなんぶ	〃	〃
66	初心者水泳教室	〃	〃
67	給食供給事業(より安全・安心のおいしい給食を目指す。)	P.36	学校給食センター
68	給食供給事業(栄養バランスのとれた食事内容の充実を図ります。)	〃	〃
69	給食供給事業(手作りの料理を心がける。)	〃	〃
70	給食供給事業(伝統食、郷土食を取り入れ、季節感を大切にする。)	P.37	〃
71	給食供給事業(地元の産物を活用しながら、地域との連携を大切にする。)	〃	〃

事務事業毎個別評価の観点

1. 実績の評価

・事務事業の実績の評価は、各事務事業の担当者が事務事業評価シートを作成することにより行われます。評価の基準となる項目は、計画性・効率性・効果性・妥当性の4項目で検討され、次表の3段階で評価します。

- ・**計画性** — 事業を必要とする社会的ニーズ、事業の進捗状況および終期の設定など事務事業が計画的に取り組まれているかを評価。
- ・**効率性** — コストの節減効果、一人当たりの事業費の高低、類似事業との比較などにより効率性の評価を行います。
- ・**効果性** — 総合計画実現への効果、目標とする成果に対する達成度を、経年的に把握することや、事業に対する住民ニーズ、計画段階からの町民参画、町民との協働など、町民の視点に立った事業となっているかを評価する。
- ・**妥当性** — 町が実施主体になるべき事業か、他の事業と併せて実施することができないかなど、事務事業実施の妥当性を評価します。

評価が高い事業	
評価が中位の事業	
評価が低い事業	

2. 総合評価

・総合評価は、1の「実績の評価」をふまえ事務事業毎に今後の方向性を検討しています。

拡 充	対象の拡大や手段の充実により事業を拡充し、さらに成果の向上を図る。	A
継 続	現状の状態で成果があがっているため、効率化に努めながら事業を継続する。	B
改善・縮小	対象や手段の変更、手段の絞り込み等により見直しを図り、事業の適性化・コスト削減また成果の向上を図る。	C
統合あるいは休止・廃止	事業目的の意義の低下または社会情勢の変化により、事業を一時的に中断・廃止するもの。または、目的が関連・類似する他の事業への整理・統合するもの。	D

事務事業毎個別評価表

学校教育指導の方針と重点

学務課関係 No, 1

事務事業名 学校教育指導の重点との関連	事務事業の概要(内容)	事務事業の実施状況	評価 (事業の評価・今後の方向性)	
心の教室相談員・ スクールサポーター 配置事業	<p>児童生徒が悩み等を気軽に話せ、ストレス等を和らげることの出来る第三者的な存在となりうる心の教室相談員及び通常学級に在籍している特別な配慮を必要とする児童生徒への学校生活支援員を配置する。</p> <p>配置人数 全12校中10校10名 事業費 小学校配置(7名)5,824,000円 中学校配置(3名)2,327,000円 合計 8,151,000円</p>	<p>小中学校の通常学級に在籍する多動傾向や介助を必要とする児童生徒に、学級担任の代わりにサポーターが対応してくれるため、担任や他の児童生徒が授業に集中でき、子どもたちへ目の行き届いた指導を行うことができた。また、児童生徒が抱える悩みごとを気軽に話せる存在となり、学校生活や日常生活におけるストレス等を和らげたり、学校内のいじめや非行等の問題を小さいうちに解消することができた。</p>	<p>通常学級に在籍する特別な配慮を必要とする児童生徒及び不登校・不登校傾向にある児童生徒への支援の必要性が高まってきている。必要とする学校へ継続して配置することができるよう学校は人材確保、町は財源の確保が必要となる。また、学校規模やニーズに応じたサポーターの配置人数等についても検討する必要がある。</p>	
			実績の評価	総合評価
1 - (1)				
スクールカウンセラー配置事業	<p>学校における教育相談体制の充実や教員の資質向上を図るため、臨床心理に関して高度で専門的な知識及び経験を有するスクールカウンセラーを配置する県の事業である。カウンセラーは児童生徒へのカウンセリングや教職員及び保護者に対する助言・援助を行っている。</p> <p>配置校 南部中学校・福地中学校・向小学校 年間配置時 280時間/年間 事業費 県費負担</p>	<p>継続して同じカウンセラーを配置して、児童生徒の実態を十分理解した上で、心のサインを受け止めている。来校日には、児童生徒だけでなく、教員が相談したり、また、子育てに悩む保護者からの相談も受けたりすることもあり、とても効果的であった。</p>	<p>年々、スクールカウンセラーの需要が高まってきているものの、県では、これ以上のカウンセラーの拡充等も実施できない現状にあるほか、県でも人材の確保が難しくなっているという。カウンセラーは、臨床心理に関して高度で専門的な知識及び経験を有する者であるため、県の事業が打ち切りになった場合、町単独としては人材の確保も難しく、また財政的にも厳しいものと思われる。</p>	
			実績の評価	総合評価
1 - (1)				
小学校国内交流事業	<p>南部氏の縁に結ばれた山梨県南部町の児童との交流をとおして、ふるさとの歴史や自然等について理解を深めるとともに、新しい時代の主役となる子どもたちの友情や郷土愛を育むことを目的とする。1年ごとの相互訪問交流を行っており、今年度は山梨県南部町児童40名が当町を訪問した。</p> <p>当町参加児童 41名(小学校5・6年生) 事業費 602,390円(町520,390円、参加者負担金82,000円)</p>	<p>他県の児童と友情を育むことができ、また町内の小学校の児童同士の関係強化が図られた。</p>	<p>この事業は、町内の小学校5・6年生を対象とし、夏休み期間を利用して行っている。これからの将来を担う子どもたちにとって、充実した体験活動であり、心に残る事業であるため、今後も継続していきたい。</p>	
			実績の評価	総合評価
1 - (1)				

学務課関係 No, 2

事務事業名 学校教育指導の重点との関連	事務事業の概要(内容)	事務事業の実施状況	評価 (事業の評価・今後の方向性)	
就学指導委員会 委託事業	<p>障害のある幼児及び児童生徒の障害の種類、程度及び発達の状況等について、専門的調査および検査の実施や、就学機関等の適切な教育措置についての判定を行った。</p> <p>委託料 年間200,000円 判定件数 26件</p>	<p>各保育園、幼稚園、小学校、中学校等から相談票が提出された幼児及び児童生徒について、専門的な調査・検査を実施し、その結果を基に適正な就学機関の判定を行うことができた。また、その判定結果を基に、各学校等においては保護者等との就学指導、相談業務を円滑に実施できた。</p>	<p>就学指導業務は、特別支援学級の担任の先生方をはじめ、養護学校等の県の特別支援教育に関わる先生方をお願いしているが、専門的知識が必要なこと、また、業務時間外における調査・検査も多く、重い負担を強いられることとなっている。継続した就学指導に関する専門的知識の確保や、多様化する就学事務等に対応するため、関係教員の研修を含め、今後引き続き検討が必要である。</p>	
			実績の評価	総合評価
1 - (1)				
就学援助事業	<p>経済的理由により、就学困難と認められる児童生徒に対し、学校教育法の規定に基づき学用品費・修学旅行費・給食費等を援助し、義務教育の円滑な実施を図った。</p> <p>要保護児童生徒 認定者 (小)2名 (中)1名 事業費 0円(該当事業無し) 準要保護児童生徒 認定者 (小)130名 (中)74名 事業費 (小)8,985,087円(中)8,465,071円</p>	<p>本事業は、就学する上で経済的問題が障害となっている世帯に非常に有効である。</p>	<p>認定の基準は各自治体に任されているが、現在の町の認定基準ではほとんどの家庭が該当する状況にあり、毎年増加している援助費の予算措置を考慮すると、当町も認定基準等の見直しが必要と考える。</p>	
			実績の評価	総合評価
1 - (1)				
学校の芸術文化 活動事業	<p>文化庁の事業として実施されている「本物の舞台芸術体験事業」並びに「学校への芸術家等派遣事業」を活用し、小中学校より希望を募り実施に向けての手続きの事務事業を行った。</p>	<p>茶道を体験したり、人形浄瑠璃を鑑賞するなど、芸術・文化と接することにより感性を養い、創造性を育むことができた。また、地域に伝わる伝統芸能を体験することにより、地域への関心が深まった。通常とは違う授業内容であり、児童・生徒も大変興味を示している。</p>	<p>本事業は文化庁の事業であり、今年度も同様に行っている。今後は町としても、さらに文化芸術に親しむ機会を創っていく必要がある。町独自の事業として実施する場合、ステージや観賞場所の問題を解決しながら、学校間の同時開催などを進める必要がある。</p>	
			実績の評価	総合評価
1 - (3)				

学務課関係 No, 3

事務事業名 学校教育指導の重点との関連	事務事業の概要(内容)	事務事業の実施状況	評価 (事業の評価・今後の方向性)	
学校施設管理 事業	幼稚園・小学校・中学校の学校施設を良好に維持していくために、施設管理業務、維持補修及び改修工事を実施し、健全な学校生活環境の整備を行った。 施設修繕 7,131千円 施設整備 34,986千円	当初計画に計上された修繕及び管理業務の他、名久井小学校給水配管改修工事、福田小学校下水道接続工事、福田小・杉沢中グラウンド整備工事、南部中手摺設置工事、福地・南部地区校内LAN配線工事及び南部小・向小・名久井小・福田小・福地中・杉沢中洋式トイレ整備工事を施工し学校の環境整備を図った。	施設の老朽化により修繕が必要な箇所や、利便性向上のための改修箇所はまだまだあるが、安全確保のための施設整備、修繕を優先的に行っていく必要がある。また、新しい施設においても定期的な維持工事を実施し、施設の長寿命化を図る必要がある。	
			実績の評価	
1				
奨学金貸付事業	町内に住所を有する者の子で、高等学校以上の学校に在学し、勉学の意欲を有し、心身が健康で、かつ経済上の理由で就学が困難と認められる者に対し、就学に必要な資金を貸し付けることにより有能な人材の育成に努め 平成21年度実績 (新規) ・貸付人数 高校 27名 (5) 専門学校 13名 (3) 短期大学 5名 (1) 大学 48名 (14) 合計 93名 (23) ・貸付総額 35,422,000円	平成21年度奨学金貸付対象者は、93名(内新規採用者23名)であり、将来を担う生徒が就学するための手助けとなった。貸付事業を継続していくための資金となる奨学基金に不足が生じるため、貸付資金を一般財源より繰り入れが必要となるが町の財政が厳しい昨今、貸付資金を確保することが難しくなる恐れがある。	現在、貸付の申請があった者で採用基準を満たしていれば貸付を行っている。しかし、今後貸付の資金が不足した場合に、採用基準を満たしても貸付が出来ない場合も考えられるため、採用の優先順位の基準を整える必要がある。経済上の問題から就学のための資金を必要としている世帯も多く、事業の継続が必要と考える。	
			実績の評価	
1 - (6)				
特別支援教育就学奨励費補助事業	小中学校の特別支援学級に在籍する児童生徒の世帯の所得に応じて、学用品費・給食等の補助を行った。 認定者数 (小)5名 (中)6名 事業費 (小)196,209円 (中)275,930円 事業費の1/2以内で国庫補助金交付	認定基準が低いためほとんどの世帯が該当し、障害があるため特別支援学級に在籍する児童生徒を持つ保護者の経済的負担を軽減できた。	障害を持つ児童生徒の保護者の経済的負担の軽減ができる事業であるため、今後も継続が必要である。	
			実績の評価	
1 - (7)				

学務課関係 No. 4

事務事業名 学校教育指導の重点との関連	事務事業の概要(内容)	事務事業の実施状況	評価 (事業の評価・今後の方向性)	
中学生海外派遣事業	町内4中学校の2年生から参加生徒を選抜し、6泊8日の日程でアメリカ合衆国ハワイ州に派遣する。研修では、ホームステイを行うとともに、現地の中学校を訪問し、交流を深めている。 募集定員 参加生徒 29名 事業費 9,110,342円 (参加者負担金2,594,779円)	中学生という多感な時期に海外を訪問することにより広い視野を持ち、各学校のリーダーとしての意識を持ち、積極的に学校内外の活動に取り組む姿勢等が伺える。また、町内の4中学校の生徒が交流する貴重な機会となっている。	新型インフルエンザの発生による海外渡航自粛の流れ及び景気低迷の影響もあり、参加者数が募集定員である40名に満たなかった。募集定員及び参加者の自己負担額の検討が必要と考える。また、安い経費で参加できるサマーキャンプとの併催等も考慮したい。	
			実績の評価	総合評価
1 - (9)				
外国語指導助手配置事業	町内の小・中学校に各地区毎に1名ずつ計3名の外国語指導助手を配置している。小・中学校の授業では教員の補助として、主に英会話、文化の紹介等を行っている。(小学校は、隔週訪問、中学校は毎週訪問している。)授業の他、英会話スピーチコンテスト、中学生海外派遣事業の際の英会話指導も行っている。	英語を母国語とする外国語指導助手が生徒の身近にいることにより、英会話能力の向上及び異文化へ興味・関心を持つことが期待されている。	平成23年度から小学校において英語が必修化されることに伴い、小学校での授業数が増える。そのため、小学校の授業の内容について、今後検討していく必要がある。また、英会話ができる教諭が少ないので、ALTとどのようにコミュニケーションをとっていくのかも今後の検討課題である。	
			実績の評価	総合評価
1 - (9)				
教職員研修事業	教職員新任者(新採用者)に対して、地域の教育課題・文化歴史等について理解を深めてもらうことを目的に実施する。平成21年度については研修の対象となる新採用者がいなかったため実施はなかった。	平成21年度は実施しなかったが、この研修で南部町の歴史、文化、各種事業の内容を理解し、学習活動に取り入れることができる。	この研修に参加する研修生はもとより、児童生徒の学習活動に役立つような研修内容になるよう、意見を聞きながら内容を充実していきたい。	
			実績の評価	総合評価
1 - (10)				

学務課関係 No, 5

事務事業名 <small>学校教育指導の重点との関連</small>	事務事業の概要(内容)	事務事業の実施状況	評価 (事業の評価・今後の方向性)	
学校施設耐震化事業	<p>地震発生時においては、児童生徒等の人命を守るとともに、被災後の教育活動等の早期再開を可能とするため、施設や設備の損傷を最小限にとどめることなど、十分な耐震性能を持たせて学校施設を整備することが重要である。耐震化が必要な校舎等については、耐震診断業務を実施し、診断結果に基づき危険校舎の解体及び耐震補強工事を行った。</p> <p>学校耐震化事業 112,042千円</p>	<p>南部小・福田小・福地中の耐震診断業務を完了し、剣吉小北棟・剣吉小グランド構造物については、危険なため解体を行った。また、向小体育館については、耐震補強工事を行って耐震化が完了した。</p>	<p>耐震診断結果により、南部小体育館、福田小体育館、福地中体育館、剣吉小校舎・体育館は耐震改修工事が必要であるため速やかに実施し、平成22年度に町内全小・中学校の耐震化が完了する。</p>	
統合学校給食センター整備事業	<p>町内に3箇所ある給食センターは老朽化が進み、機械の故障が多発しているため、3つの施設を統合新築し衛生的に管理された給食センターの整備を行った。</p> <p>統合給食センター整備事業 746,137千円</p>	<p>統合給食センター新築工事が平成21年5月31日に完成し、給食配送用自動車(4台)・施設備品・食器等を購入後、平成21年8月20日から学校給食の提供を開始している。また、給食配送用自動車車庫も新築し、衛生的に管理された給食の提供に努めている。</p>	<p>統合給食センター整備事業については、平成21年度に全て完了した。今後は、旧給食センター3施設の取扱いについて、検討する必要がある。</p>	
幼稚園就園奨励費補助事業	<p>幼稚園教育の推進を図るため、また、就園幼児のいる世帯の経済的負担を軽減するため、世帯の所得状況に応じて、公立幼稚園においては保育料の減免、私立幼稚園においては補助金を交付した。(事業費の1/3以内で国庫補助金が交付)</p> <p>公立幼稚園 対象者 10名 事業費 293,300円 私立幼稚園 対象者 58名 事業費 5,901,100円</p>	<p>低所得者層に対する補助金額が増額され、経済的負担が軽減された。反面、多数の世帯が該当する世帯区分の補助金額は減額されたため、負担の軽減はどのくらいかは不明である。</p>	<p>幼稚園に就園する幼児のいる世帯の経済的負担が軽減されることから、今後も継続が必要である。</p>	

幼稚園関係 No, 1

事務事業名 学校教育指導の重点との関連	事務事業の概要(内容)	事務事業の実施状況		評価 (事業の評価・今後の方向性)	
<p>教育課程</p> <p>(名川幼稚園)</p>	<p>教育目標「げんきにたのしくあそぶ子ども」のもとで、「げんきにあそぶ子、いっしょうけんめいあそぶ子、なかよくあそぶ子」の努力目標達成に向かって子供達の成長に努めるように取り組んできた。教育要領について共通理解を深め、本園の指導計画の充実に努めた。</p> <p>名川幼稚園入園児数 61名 ・5歳児 28名 ・4歳児 19名 ・3歳児 14名</p>	<p>・子供の興味、関心を喚起する生き物体験(飼育、栽培)や、ふるさと体験(お祭り、梨狩りセミナーなどの町イベント参加)を進めることができた。</p> <p>・朝の集いでの園長による「科学の時間」で科学体験や物づくり体験意識の開発ができ</p> <p>・教師の役割としては、人的・物的環境だけでなく、空間的環境などのその場その場で個々の子供に応じて様々な役割を果たしていかなければならないことの大切さを痛感し職員の共通理解を図る。</p>		<p>1. 幼児の主體的な活動を促し、幼児期にふさわしい活動が展開されるような指導に努める。</p> <p>2. 創造性や言語能力の向上を目指し、自発的な遊びをしての総合的な指導に努める。</p> <p>3. 一人ひとりの発達の特性に合った指導に努める。</p> <p>4. 園内研修の充実</p> <p>5. 21年度から22年度のわたって、「健やかな心と体を育む保育」。基本的な生活習慣の形成や、食に関心をもつための環境に関する指導のあり方について園内研修を行</p>	<p>総合評価</p> <p>A</p>
<p>1 - (13)</p>	<p>教育課程</p> <p>(南部幼稚園)</p>	<p>新教育要領になってから、さらに平成20年にも一部改正になったので、その内容も考慮に入れて指導計画を作成する。今後は、内容をより充実した物にするため、反省や見直しをこれまで以上に吟味し、本園に合った指導計画に努めていく。また、教育目標・努力目標も見直しをするなど、職員の共通理解を図っていききたい。</p>		<p>平成22年度は青森県幼稚園教育課程研究大会の発表園になっているため、大会に向けて教育課程等の内容の見直しをし、共通理解を図りながら園内研修・課題幼稚園における子育て支援活動・食育教育の推進をとおして研修を進め、発表に向けて取り組んでいきたい。</p>	<p>総合評価</p> <p>A</p>
<p>1 - (13)</p>	<p>発表会(ゆうぎ会)</p> <p>(名川幼稚園)</p> <p>友達と歌や楽器、劇、ゆうぎなどを役割分担しながら表現したり、必要な小道具などを作ったりして発表することを楽しむことができた。ゆうぎ会は、幼稚園生活での活動に対する個々の子供の成長の姿を見てもらう良い機会となっている。</p> <p>参加園児 名川幼稚園ホール</p>	<p>沢山の観客(保護者や祖父母)の前で、これまでに積み重ねてきた表現活動を友達と一緒に発表できたことに自信を持たせることができた。また、ゆうぎや劇発表では、衣装を着けてその役になりきって発表を楽しんでいる。「みんなが主役」になれるようなプログラムを構成して行った。当日の演技発表では、その子なりに自分の力を発揮していた。</p>		<p>開園以来続いている行事の一つで保護者の方々も楽しみにしている。また、子供達もゆうぎ会を経験することで表現することに興味・関心を持ち、友達とのつながりも一層強くなるので、楽しんで活動に取り組めるようにしていきたい。教師間で打合せを密にし、プログラム内容や衣装に工夫や変化を持たせるように考慮していきたい。また、練習のための時間の取り方と指導の在り方を工夫する必要がある。</p>	<p>総合評価</p> <p>B</p>
<p>1 - (13)</p>		<p>実績の評価</p>		<p>総合評価</p>	<p>B</p>

幼稚園関係 No, 2

事務事業名 <small>学校教育指導の重点との関連</small>	事務事業の概要(内容)	事務事業の実施状況	評価 (事業の評価・今後の方向性)	
生活発表会 (南部幼稚園)	毎日の幼稚園生活での活動を劇やお遊戯・歌・楽器演奏などで表現して、友達と相談し、協力しあいながら衣装や道具を工夫したり、製作したりしている。みんなの前で発表する生活発表会は子どもの成長の姿を見てもらう良い機会である。この時期になると創造力も豊かになり(特に年長)友達とイメージをふくらませている。ALTによる英語教室で覚えた英語を使った劇は、南部幼稚園ならではの生活発表会になった。	発表会当日の出来映えがどうだったかではなく、発表会までの日常の活動を楽しんでいるか否かが大切である。本園は、それまでの過程を重視している。教師主体ではなく、子供達が発表会に向けて友達と一緒に生き生きと活動している様子は、自分たちの力を存分に発揮している。	これまで行ってきた生活発表会は、園児一人ひとりが生き生きと活動している。園児数が少ないので自分を発揮する場が多いので、一人ひとりの活動を認めて、その能力を十分発揮して楽しむ姿を保護者に見てもらうことで園児の自信につなげていきたい。	
1 - (13)		実績の評価	総合評価	B
お泊まり保育 (名川幼稚園)	いつもと異なる環境の中で、自宅以外に泊まる保育を体験することにより、友達と協力し合いながら楽しく過ごすことが出来た。また、様々な経験を通して自分のことは自分であるという自立に対する自信を持ったように思われる。 ・参加園児数 5歳児 28名 ・自己負担 1,300円 ・場 所 名川幼稚園(遊覧船乗船体験・マリエント見学・グレットタワー見学)	家族と離れて一人だけで泊まる経験のない子どもにとって、友達や教師と一緒に幼稚園に宿泊をしての共同生活は「何でも自分でやろう」という目標のもと、子供達の自立に対する自信を持たせることが出来た。たった一日だけだったが、大きな経験をして、また一歩成長することが出来たと思う。	お泊まり会を体験することで、子供達に一人で泊まれるという自信と達成感が見られる。しかし、親元を離れて泊まることに対して子供達より保護者の方が不安を抱く場合が見られる。その気持ちが子供に伝わって不安感を抱かせているように思われる。子供達に対しては、前年度の写真を見せたり、話を聞かせたりして期待を持たせ、親に対しては園だより等を通して説明をし、理解と協力をしてもらうようにしている。このお泊まり保育は、子供達の成長の過程において貴重な体験なので今後も継続して行きたい。	
1 - (13)		実績の評価	総合評価	B
お泊まり保育 (南部幼稚園)	いつもと異なる環境の中での集団生活(お泊まり保育)を通して望ましい人間関係の育成を図り、自立への自信を持たせる。場所は、南部幼稚園で対象は年長児7名であった。 ・参加費 2,400円 年少児・年中児は、夜店とキャンプファイヤー迄の参加で費用は、700円	ほとんどの子は一人で他に泊まるという経験がなかった。初めての経験であったが、親元を離れて友達と協力しあいながら楽しく過ごすことができた。園で収穫した野菜を調理したり就寝の準備をしたりすることで自分のことは自分で出来るという自立に対する自信を持つことが出来た。親も子供の成長ぶりをあらためて感じ、お泊まり保育に参加できたことを喜んでいる。	親元を離れてのお泊まりに対して、子供だけでなく親も不安感があるようなので、事前に前年度のお泊まり保育の話を聞かせたり、写真を見せたりなどをして、保護者の不安を取り除くような配慮が必要であった。お泊まり保育に参加した園児は、友達と一緒に体験したことで、友達との人間関係が広まった。	
1 - (13)		実績の評価	総合評価	B

幼稚園関係 No. 3

事務事業名 学校教育指導の重点との関連	事務事業の概要(内容)	事務事業の実施状況	評価 (事業の評価・今後の方向性)	
運動会 (名川幼稚園)	<p>友達と共通の目標に向かって協力して運動会活動が展開できるように進めている。そして、当日は「家族みんなで参加し楽しめる運動会」をねらいとし、父母・兄弟・祖父母も参加できる競技を組み入れ工夫を凝らすようにしている。</p> <p>・参加園児数 園児61名 他保護者等 ・場 所 名川幼稚園園庭</p>	<p>日曜日に実施していることもあって、家族の参加・応援が賑やかである。また、父母・兄弟・祖父母も率先して協議に参加してくれる。競技の中に5歳児・4歳児には定番の競技があって、子供達が毎年競っている。5歳児には、一人一役ということで団長をはじめ、いろいろな役割分担をし、実施している。</p>	<p>運動会経験後は、身体を動かすことや競争することに興味や関心を持って、遊びも活発になっている。競技を検討するときには、園全体で検討し、教師間で打合せを密にし、活動が子供達に無理のないものにするのが大切である。また、体を動かすことに興味を持って参加できるように競技構成を工夫し、子供達にとって楽しい思い出になるようにしていきたい。保護者の協力なしでは運営できないものなので、保護者の意見も取り入れ、連絡を取り合いながら進めていくことが必要である。</p>	
1 - (13)		実績の評価	総合評価	B
運動会 (南部幼稚園)	<p>運動会は、年間行事の一つとなっており、練習から当日までの一連の流れが、子供達の園生活の延長線上にあるものだという考え方でやっている。つまり、日頃の運動的な遊びや活動から種目の内容を考えるなど、子供主体で行っている。園児数が少ないため、種目の半数は父母と一緒に競技となっているが、父母を始め家族がとても協力的で盛りあがった運動会であった。</p>	<p>園児中心の運動会をモットーにしているため、子供達が運動会前から当日まで楽しく練習をするという過程を大事にしている。運動会は家族と一緒に楽しみ、運動会後は、しばらく余韻を楽しむような環境構成をしている。園児達の活動を振り返り、結果だけに目を向けるのではなく、どんなプロセスがそこにあったか見落とさず関わっていかなければならない。</p>	<p>教育要領では、「しなやかな心と体の発達を促す」ことを求めている。これは、柔軟性や回復力の育成ということであるが、運動会や日常の活動の中で危険を回避する身のこなしを養い、自立心を育て、友達と力を合わせながら主体的に運動に取り組めるような環境構成工夫に努める。運動を通して自らの生命を守ることを教えていながら、よく寝る・よく遊ぶ・よく食べる、そういった日々の活動を充実させ、教育目標である心豊かでたくましい子供の育成を目指したい。</p>	
1 - (13)		実績の評価	総合評価	B
体験活動 (名川幼稚園)	<p>金魚や熱帯魚、亀などのほかに、ザリガニ、オタマジャクシ、クワガタ虫やカブト虫の成長の様子を観察したり、餌を与えて飼育している。畑では、枝豆、ジャガイモ、サツマイモなどを5歳児が中心となって栽培をしている。収穫は、全園児が協力して行い、家に持ち帰ったり、落ち葉集めなどを行い幼稚園で焼きいも会をして食べたりしている。</p>	<p>飼育図鑑などを身ながら興味を持って飼育物の成長を見守っている。また、飼育物を世話することで、生き物の命の大切さに気づき、いたわる気持ちや、やさしさが芽生えている。畑での栽培は、水やりや草取りなどをして世話をすることで「食」への関心を持てるようになった。そして、自分たちで育てた野菜を収穫して持ち帰ることで家での食事喜んで食べるようになったという保護者の声が印象的である。</p>	<p>飼育物の世話をしていると「生」と「死」の場面に出会うが、その場その場で命の大切さを知らせるには良い場になると思う。また、畑での栽培を通して、自分たちで栽培・収穫したという体験をすることで「食べる」ということに一層興味関心が持てるようにしたい。これからも引き続き子供達と一緒に体験を通しての保育に努めていきたい。</p>	
1 - (13)		実績の評価	総合評価	B

事務事業毎個別評価表

社会教育指導の方針と重点

社会教育課関係 No.1

事務事業名 社会教育指導の重点との関連	事務事業の概要(内容)	事務事業の実施状況	評価 (事業の評価・今後の方向性)	
心教室相談員・ スクールサポーター 配置事業	町内各小・中学校の要望に応じて、各分野の専門家・愛好家の方々に授業等の学校教育活動に参加してもらうことにより、児童生徒の基礎・基本の定着を図り、地域に対する愛着の心を育む。 ・内容 学校の要望に応じて講師(ゲストティーチャー)を依頼、派遣す ・対象 町民、児童・生徒 ・参加者数 講師41名 学習者のべ5,842 ・回数 170回 ・予算区分 町単独 340,000円	この事業を利用する学校は増加の傾向を見せている。学校の授業の中で行われる指導に対して、交通費程度の謝金をお願いをしている。学校では、教育効果の向上につながるしており、社会教育では地域の教育力向上が図られるとしている。	当事業実施における拡大・充実を図ったことにより、昨年度よりも実施回数が増えている。文科省、県教委ともに学校と地域の協働による教育活動を推し進めていることから、当事業の予算規模や利用件数を拡大していきたい。	
文化賞・スポーツ賞 表彰	文化、スポーツに功績があった方(団体・個人)、また、顕著な成績をおさめた方(団体・個人)を表彰する。 ・内容 文化功労賞、文化賞、文化奨励賞、スポーツ功労賞、スポーツ賞、スポーツ奨励賞 ・被表彰者 個人115名 団体2団体 ・予算区分 町単独 225,000円	文化の向上、体育・スポーツ振興に功績があった方に対し、表彰をおこなった。	今後も継続していく。	
学校支援地域本部 事業(国委託)	目的 地域住民が積極的に学校を支援し、地域の教育力向上を図る。 内容 ・実行委員会の開催(年3回)委員5名 ・学校支援地域本部の活動 ・コーディネーター会議(年6回) ・学習会(2回) ・学校の要望に応じて、学習支援ボランティア・環境支援ボランティアを募集し、コーディネーターが学校と地域の調整を図り、事業を実施する。 経費 4,042,000円	国委託事業による事業。町内小・中学校12校全校で実施された。学校の要望により事業が行われるが、1年目の事業の周知、体制作りに加え、今年度は活動の増に努めた。活動の増加に伴いコーディネーターの増加を図った。各校1名以上を理想とするが、現在2校にコーディネーターが配置されていない。事業内容については、学校を支援するという形であるが、学校にとっては、子どもに向き合う時間の増加が図られ、地域にとっては、個人または団体の得意とすることが生かされ、双方にプラスになるものとする。	文科省、県教委ともに学校と地域の協働による教育活動を推進していることから、この事業は継続・拡大するものとする。コーディネーターの働きかけにより、円滑に事業が行われている。今後は、ボランティアを行う個人・団体の育成に努めたい。	

社会教育課関係 No.2

事務事業名 学校教育指導の重点との関連	事務事業の概要(内容)	事務事業の実施状況	評価 (事業の評価・今後の方向性)		
就学指導委員会 委託事業	地域の特性を生かした「食」について学び、地域との交流を深め、子供の豊かな人間性を育むことを目的に、市場食育祭において体験活動を行う。 ・参加者数 295名 ・実施日 平成21年9月6日(日) ・実施場所 南部町営地方卸売り市場 ・事業費 38,000円	体験活動として、昔ながらの「せんべい焼き」、親子で作る「クッキー焼き」を行うため、小学校等を利用して子どもや保護者へチラシを配布し、参加を呼びかけた。事前の申し込みは少ない状況であったが、当日での参加が非常に多く、幼児から高齢者まで幅広い年齢層での体験活動となった。	体験活動コーナーの申し込み方法に問題があったため参加者が少なかったとの意見があり、今後考慮すべき点である。内容とニーズに関しては、今後の参考となる事業であったと考える。		
2 - (2)		実績の評価		総合評価	B
女性学級	町内の女性が広く教養を身に付け、資質の向上を図ることを目的として、講座を開催する。 ・参加者数 のべ116名 ・実施回数 4回 ・実施場所 中央公民館他 ・事業費 10,000円	南部町連合婦人会が主体となり、講座の計画や周知等、自主的な活動で行われているため、当初の目標である学習者の自発的学習体制は確立されている。教室は、太極拳、八戸市内視察、手軽にできる家庭療法など、多くの方々が興味を持ちやすく、参加しやすい内容で行われた。	内容・開催方法等に関しては特に問題はないが、参加者が概ね婦人会の会員であるため、一般からの参加が望まれる。女性の地域における社会連帯意識の確立や形成、資質向上に向けて、この事業は非常に有効であり、これからも拡大拡充が必要と考える。		
2 - (2)		実績の評価		総合評価	B
家庭教育セミナー	町内の幼児の保護者を対象に、子育てに関する資質の向上を目的に、講座を開催する。 ・参加者数 345名 ・実施回数 6回 ・実施場所 町内乳幼児施設等 ・事業費 20,000円	中央公民館の読み聞かせ事業と連携協力し、町内乳幼児施設などでの行事と併せて開催したため、参加者が多く、学習効果は非常に大きかった。また、施設により、乳用児も一緒に参加する場合もあり、親子や祖父母の間での交流も図られていた。読み聞かせの普及や子育てに関する資質の向上を目指す事業として非常に有意義であったと考える。	多くの保護者が集まる機会を利用し、行事中での講座開催のため、子どもも参加できる内容が多くなっている。今後は、開催内容について、若干の修正等が必要と考える。		
2 - (2)		実績の評価		総合評価	B

社会教育課関係 No.3

事務事業名 学校施設管理 事業	事務事業の概要(内容)	事務事業の実施状況		評価 (事業の評価・今後の方向性)	
ふるさと「楽習」キャンプ	<p>ふるさとの自然を体験し、同年代・世代間の交流を深め、子どもの豊かな人間性を育むことを目的に、共同生活体験・野外炊事体験・工作体験等を行う。</p> <p>・参加者数 11名 ・実施日 平成21年8月7日～8月8日 1泊2日 ・実施場所 名川チェリリン村 ・事業費 138,000円</p>	<p>体験活動として、昔ながらの「せんべい焼き」、親子で作る「クッキー焼き」を行うため、小学校等を利用して子どもや保護者へチラシを配布し、参加を呼びかけた。事前の申し込みは少ない状況であったが、当日での参加が非常に多く、幼児から高齢者まで幅広い年齢層での体験活動となった。</p>		<p>今回の事業は、開催日前後に学校行事・町行事が重複したことなどから、参加者は定員に満たない状況であった。自然や生活・社会体験など、様々な体験活動の機会を通し、社会性や思いやりなどの豊かな人間性を育む効果は大きいとみられるため、今後の事業の拡大・充実が望まれる。</p>	
2 - (2)		実績の評価		総合評価	B
家庭教育講座	<p>町内小・中学校の保護者を対象に、子育てに関する資質の向上を目的に家庭教育講座を開催する。</p> <p>・参加者数 のべ328名 ・実施回数 12回 ・実施場所 町内小・中学校 ・事業費 30,000円</p>	<p>参加者の増加を目指し、参観日や就学児検診、PTA研修会など保護者が多く集まる機会を利用して開催した。内容に関しては、開催校教諭やPTAの代表と協議し、食育や若年生活習慣病予防、親子関係の築き方、携帯電話のルールとマナー、子どもの「心」に関することやキャリア形成・進路選択など、現在保護者が抱えているような問題点に、家庭教育の大切さの意識の向上を図ることができた。</p>		<p>家庭教育の支援・学習機会の推進を図るため、この事業の効果は大きいと考えられる。また、今後の子育て・家庭教育支援の重要性や必要性を鑑み、事業の拡大が望まれる。</p>	
2 - (2)		実績の評価		総合評価	A
成人式	<p>大人になったことを自覚し、自ら生き抜こうとする新成人を祝い、励ますことを目的に開催。</p> <p>・参加者数 222名 ・実施日 平成22年1月10日 ・実施場所 町民ホール ・内容 式典・記念コンサート・記念撮影 ・事業費 527,000円</p>	<p>式典は、主催は南部町、主管として南部町教育委員会、後援として南部町連合青年団での開催。連合青年団には、多大な協力を頂いている。</p>		<p>式典に関しては、主催は町であるが、新成人が自発的に参画できるような状況を設定し、プロセスに関わりを多く持ち、青年活動へつなげる方策が必要と考える。</p>	
2 - (2)		実績の評価		総合評価	A

社会教育課関係 No.4

中学生海外派遣 <small>学校教育指導の重点との関</small>	事務事業の概要(内容)	事務事業の実施状況		評価 (事業の評価・今後の方向性)	
南部ふるさと塾	ふるさとの歴史・伝統・文化を学ぶための講演・現地視察等の実施。 全6回 参加者のべ263名	平成21年度は、いずれも南部町と深い関わりのある、細井計氏や齋藤利男氏など第一線の研究者を講師として講演を実施した。広報や新聞、ポスター掲示、チラシの配布によって、会場の収容限界人数一杯の参加者を得ることができた。移動講座は申し込みが殺到し、受付開始1時間で定員30名を超えたため、かなりの人数の申し込みを断らざるを得なかった。申し込み方法や移動講座の場所の選定などを見直す必要がある。		参加者にアンケートを実施したところ、参加者のほぼ全員から次回も参加したいとの回答を得た。中には、希望する講師を何名か挙げる回答も見られた。地区別では、福地・名川・南部の3地区からの参加があり偏りは見られなかった。しかし、年代別にみると、60代が40%強、70～80代が45%強となっており、50代以下の参加が極端に少ないことが判明した。今後は参加者のうち、50代以下の壮年層の取り込みが必要である。	
英語指導助手 配置		実績の評価		総合評価	A

事務事業毎個別評価表

文化財保護行政の方針と重点

史跡対策室・社会教育課関係 No.1

事務事業名 社会教育指導の重点との関連	事務事業の概要(内容)	事務事業の実施状況	評価 (事業の評価・今後の方向性)	
南部七唄七踊り全国大会	<ul style="list-style-type: none"> ・目的 南部七唄七踊りの啓蒙・普及・後継者育成に努める。 ・内容 七唄 小学生の部、中・校生の部 七踊り 子どもの部、大人の部 ・対象 各部門毎 ・回数 年1回 ・予算 町単費3,050,000円 	南部町、南部町教育委員会、南部町観光協会、南部町商工会、南部町文化協会、南部町郷土芸能保存会が実行委員会を組織して事業を行っている。年4回実行委員会を開催し、協議のもとに大会を開催している。	七踊りについては、出場者も多く、後継者育成の一助となっている。七唄については、出場者が少なく、なんらかの手立てが必要となっている。	
			2 - (2)	実績の評価
町内文化財パトロール事業	文化財保護法の趣旨に基づき、町内に所在する文化財の現状の把握と、保護をするため、埋蔵文化財を中心に開発等による破壊や盗掘の有無を青森県文化財保護指導員3名と共にパトロールを実施している。 パトロール件数 埋蔵文化財 18件 文化財 4件	埋蔵文化財の現状を、踏査及び情報収集により常に把握し、文化財保護指導員と共に保護活動を実施している。町内文化財パトロールを実施することにより、保護の重要性を町民に啓発でき、非常に有意義で不可欠である。	文化財保護行政には、欠かせない事業であり、今後とも文化財保護の重要性を啓発する。	
			3 - (3)	実績の評価
小学校国内交流事業	史跡「聖寿寺館跡の整備計画の作成を目的とした発掘調査。 調査の成果 遺構 「掘立柱」建物跡4基 遺物 陶磁器、銭貨、金属製品 現地説明会 平成21年10月13日 参集者約40名	城館西側の建物配置について把握でき、整備計画の指標となる。	今年度の調査成果を基に、次年度の調査区の設定に寄与できる。調査及び調査の成果を町民に対して更にPRして、史跡保護、文化財保護行政の重要性の啓発を図る。	
			3 - (3)	実績の評価

史跡対策室・社会教育課関係 No. 2

事務事業名 就学指導委員会 委託事業	事務事業の概要(内容)	事務事業の実施状況		評価 (事業の評価・今後の方向性)	
国史跡「聖寿寺館跡」の活用(見学・体験発掘)	埋蔵文化財の大切さと重要性を肌で実感してもらおう。向小学校6年生による、発掘体験(学校と地域ネット推進事業による) 実施日 平成21年9月10日	対象者が児童であるため、安全管理を十分考慮して実施した。発掘を体験した児童は、郷土の歴史を肌で感じ非常に興奮していた。時間を忘れて調査を行っていた。		体験型学習としては、大いに評価できる事業であり、今後は町内の全学校と協力して、全児童が体験できるように考慮していきたい。	
		実績の評価		総合評価	A
奥州街道の整備	街道の草刈りや、向小学校6年生による街道ウォーク(学校と地域ネット推進事業による)の実施	街道を歩いて、町の歴史を楽しく勉強した。自分の足で実際に歩きながらの学習は、児童にとって新鮮に歴史が目映ったようである。大いに評価できる事業である。		体験型学習としては、発掘調査と同様に大いに評価できる事業であり、今後は町内全ての学校と協力して、全児童が体験できるように努力していく。	
		実績の評価		総合評価	B
伝統芸能・技術の継承事業	古くから郷土に根ざして継承されてきた芸能を保護し、さらに後世に引き継ぐために後継者の育成に努める団体に対し助成する。	町指定の無形民俗文化財の保存及び活用について有効に助成されている。町内のえんぶり・神楽等で町指定となっていないものもあり、今後指定に向けて検討をしていく。		継続して無形文化財の保存及び活用を行っていく。	
		実績の評価		総合評価	B

事務事業毎個別評価表

公民館関係 No, 1

事務事業名 学校教育指導の重点との関連	事務事業の概要(内容)	事務事業の実施状況	評価 (事業の評価・今後の方向性)	
心の教室相談員・ スクールサポーター 配置事業	アロマテラピーのリラックス&リフレッシュ効果と、簡単にできるエクササイズを結びつけた運動を通して、健康維持の一助となるように努める。 10回開催で延べ128名の参加であった。	心と身体の健康管理・健康づくりに効果が大きく、参加者の学習意欲も高い。	参加者の健康管理・健康づくりに対する意識が高まり、事業の効果は大きい。会場や内容の充実に努め、開催していく。	
		実績の評価	総合評価	B
2 - (3)				
着付け教室	日本の伝統ある着物を自分で着付け出来るようになることで、潤いのある生活形成を図る。内容として、着付けに関する講義と実習で、年10回開催し延べ144名の参加であった。	参加者の学習態度は極めて意欲的で、参加者による自主的な運営がなされている。伝統文化に対する意識が高まっている。	講座の内容も充実しており、参加者の学習意欲もよく、事業の効果は大きい。講座の人気も高く、今後も同様に継続していく。	
		実績の評価	総合評価	B
2 - (3)				
おもしろ体験教室	町内の児童・生徒とその保護者を対象に、いろいろな体験活動をおこない、知識教養を身に付ける。 内容として、親子星空観望会・釣り体験教室・音楽楽習会等を実施。8回開催し延べ122名の参加であった。	天体望遠鏡での星の観望、岸壁での釣り体験では、自然・環境・食について考える良い機会となった。また、音楽に親しむ音楽楽習会は、身近に音楽や楽器に接することができた。	体験活動を通して、学ぶことは多く、また、親子での参加により、ふれあいの良い機会となり効果は大きいと考え、次年度も同様に開催していく。	
		実績の評価	総合評価	B
2 - (3)				
英会話教室	高校生以上の町民を対象に、国際人としての資質の向上を図るため、英語に親しみ、簡単な日常会話ができるようにし、国際理解の一助とする。内容として、英会話に関する講義と演習を13回行った。参加者は、初級クラス延べ146名、中級クラス延べ74名であった。	初級、中級の2クラスで開催しているため、レベルに応じた学習ができる。参加者の学習態度は極めて意欲的で、参加者による自主的な運営がなされている。外国人講師による、本物の英語を学ぶ良い機会となっている。	学習方法や内容は充実しており、事業の効果は大きい。今後も内容などを検討しながら、継続開催していく。	
		実績の評価	総合評価	B
2 - (3)				

公民館関係 No, 2

指導委員会 委託 学校教育指導の重点との関連	事務事業の概要(内容)	事務事業の実施状況		評価 (事業の評価・今後の方向性)	
書道教室	書道に親しむことにより、自己啓発を促す。成人の町民を対象に年13回開催し、延べ166人の参加があった。	参加者個々の目標は、概ね達成されている。学習内容の特性上、習熟度を考慮した計画にしていける必要があると考える。		事業の効果は大きいと考える。次年度は、初級者・入門者に重点を置いて開催していきたい。自主運営への移行など検討が必要であり、見直しをしながら継続開催していく。	
2 - (3)		実績の評価		総合評価	B
IT講習	町民を対象に、パソコンの基本操作、文書や表計算の作成などを学び、情報通信技術に関する基礎的技術の向上を図る。	講習会を8回開催し、延べ40名の参加者であった。参加者の学習意欲も高く、個々の目標は概ね達成されている。入門レベルの講座であり、更に学習したい場合は、民間運営の講座を受講している。		初心者・初級向けの講座であるが、住民のニーズは高く事業の効果は極めて大きいため、今後も継続していく。	
2 - (3)		実績の評価		総合評価	B
読み聞かせ教室	幼児・児童の保護者を対象に読み聞かせの異議や技術を学び、読書団体の育成を図る。	家庭教育事業とタイアップを図り、6回開催し、延べ150名の参加であった。読み聞かせへの理解が深まり、普及、PRに効果があった。		読み聞かせの効果は非常に大きいため、事業は必要と思われる。開催方法などを検討しながら、今後も継続していく。	
2 - (3)		実績の評価		総合評価	B
趣味の教室	町民が興味、関心のある教室を開講し、自己の知識、能力の向上を図る。	町民の希望により、生け花・エアロビクス・コーラス・よさこいなど全20教室を開催した。延べ4,529名の参加があった。教室の閉校式を兼ねて、発表会を行っている。		各教室は自主運営されており、参加者の学習意欲も高く、事業の効果は大きい。サークル活動への移行も検討しながら、次年度も同様に開催していく。	
2 - (3)		実績の評価		総合評価	B

事務事業毎個別評価表

体育館関係 No. 1

事務事業名 学校教育指導の重点との関連	事務事業の概要(内容)	事務事業の実施状況	評価 (事業の評価・今後の方向性)	
心の教室相談員・ スクールサポーター 配置事業	住民相互の親和と明日への活力を養うため、全町内を対象とする統合チームによる町民運動会が地域の理解・協力により全町内の参加を得「第3回南部町民運動会」を開催することが出来た。	対象 南部町民 参加者数 1,852名 開催日 平成21年10月11日(日) 事業費 1,583千円	町民の健康維持・増進と親和を図り、明日への活力を養うように、町内会からの意見等を聞きながら改善できるものは改善していく。さらに今後は、町内全域の参加の促進及び競技進行・内容・会場設備などの課題解決に取り組む。	
		実績の評価	総合評価	A
2 - (4)				
うぐいすマラソン大会	参加者の健康増進につとめるとともに、参加者相互の親睦を図る。毎年時期が早いためその年の試し大会の要素を含んでいることから、参加者が横ばい状態ではあるが、マラソン愛好家に親しまれている大会である。	高校・一般男子10kmのほか全13種目のマラソン大会 実施日 平成21年4月26日(日) 場所 南部町運動公園福地多目的広場 参加数 419名 事業費 642千円	町のPRも視野に展開している事業であり、今後は規模を拡大していきたいと考えている。現在のストップウォッチによるタイム計測、目視によるナンバーカード確認、手書きの記録では、対応が困難になってきているため、参加者拡大とともに計測システムの導入が不可欠になってきている。	
		実績の評価	総合評価	B
2 - (4)				
小学校国内交流事業	陸上競技のレベルアップを図ることと、駅伝競走の普及と参加者相互の親睦と融和を図る。	駅伝競走大会(町内小学校、三戸郡下中学校 高校・一般)の3種目 実施日 平成21年11月1日(日) 場所 南部町内 参加数 小学校9チーム、中学校男子9 中学校女子6チーム、一般8チーム、27 事業費 392千円	新型インフルエンザの流行により、中止となった。大会当日の悪天候(雨)に対する対策を十分に考慮し、来年度は参加者の立場にたって運営していきたい。	
		実績の評価	総合評価	B
2 - (4)				

体育館関係 No. 2

事務事業名 就学指導委員会 委託事業	事務事業の概要(内容)	事務事業の実施状況	評価 (事業の評価・今後の方向性)	
第4回町民歩け歩け運動大会	町民の体力づくりと親睦のため行うもので、日常生活に潤いと歩くことの必要性の理解と健康で明るい町づくりに寄与することを目的に開催する。今年度は前日から降り続く雨で地盤も緩く、当日も豪雨のため登山するには危険と判断し中止とした。	今年度は、各種大会・事業と重複しない時期の7月に計画した。	来年度の開催時期については、今年度と同じく7月頃に計画したい。町民からのニーズもあり、体力づくりの一助となる事業である。町民の体力づくり、維持、増進は必要であり、また、歩くことは各々の体力に合わせ誰でもどこでも気軽にできる運動であり、今後も住民に関心を持ってもらう事業として展開していく。	
		実施日 平成21年7月19日(日) 場所 岩手県八幡平市 参加者 44名 事業費 125千円		
2 - (4)				
ニュースポーツフェスティバル	冬場は、「身体を動かす機会がない」「ストレスの発散の場がない」等のことから、ニュースポーツを通して地域住民の健康維持・増進を図るとともに、各地区との交流、仲間づくりの推進に努める。	町民を対象とした、ニュースポーツ体験会	スポーツに理解と関心を持ってもらうための事業である。広報に掲載し開催の周知を行ったが、参加者が減少していることから、町民にとって何が必要か、何を望んでいるかを把握する必要がある。参加者からの意見としては、楽しむことができたとか簡単にできるなど、ニュースポーツに対する姿勢が積極的であった。今後は、周知方法と事業内容を検討し、参加者の増を図ることが必要である。	
		実施日 平成21年11月15日(日) 場所 B & G海洋センター 参加者 23名 事業費 75千円		
2 - (4)				
ナイタースポーツ大会(ユニホック・軟式バレー大会)	スポーツを通じて心身を鍛え、健康で明るい町づくりに寄与するとともに、体力増進、生涯スポーツの推進を図る。	町内対抗ユニホック大会・軟式バレー大会	昨年度に比べ、参加チーム数が減少していることから、町民にとって何が必要か、また何を望んでいるか、スポーツに関するアンケート調査等を行い、より多くの町民が参加できる事業を計画して行かなければならない。	
		実施日 ユニホック大会 11月30日 ～12月3日(4日間) 軟式バレー大会 1月31日 参加者 延べ 320名 事業費 87千円		
2 - (4)				

学校施設管理 事業

体育館関係 No, 3

事務事業名 学校教育指導の重点との関連	事務事業の概要(内容)	事務事業の実施状況		評価 (事業の評価・今後の方向性)	
ニュースポーツinスクール	青少年のスポーツ活動の充実とニュースポーツの普及を図る。	町内小・中学校の要望に応じてスポーツ教室を開催(グランドゴルフ、ユニホック、バウンドテニス、ドッチビー) 実施回数 25回 参加者 講師10名 参加者延べ578名 事業費 46千円		昨年度より、要望の少ない南部地区や福地地区への周知を徹底して、今年度福地地区からの要望が増え、事業の拡大が図られた。しかし南部地区の伸びが少なく来年度も引き続き南部地区への周知を徹底していく。	
2 - (4)		実績の評価		総合評価	A
ニュースポーツ移動教室	ニュースポーツの普及と地域住民の健康維持・増進を図る。	町民を対象とした、ニュースポーツ体験会 実施日 平成21年11月15日(日) 場所 B & G海洋センター 参加者 23名 事業費 75千円		昨年度に比べ、若干ではあるが依頼数が増加してきている。親子レクでの活用が多いので、学校等へ周知しながら事業拡大を図っていく。	
2 - (4)		実績の評価		総合評価	B

事務事業毎個別評価表

B & G海洋センター関係 No, 1

事務事業名 学校教育指導の重点との関連	事務事業の概要(内容)	事務事業の実施状況	評価 (事業の評価・今後の方向性)	
心の教室相談員・ スクールサポーター 配置事業	高齢者を対象に、運動の楽しさや重要性を知ってもらうことで習慣化を促し、転倒・寝たきり予防を図るとともに参加者の生きがいづくりを目指す。 内容 ストレッチ、筋力トレーニング リズム体操、レクリエーション ニュースポーツ、健康についての講 健脚度測定	実施場所 ぼたんの里、福寿館、海洋センター 実施回数 36回 参加者数 南部地区14名(延べ136名) 福地地区30名(延べ285名) 名川地区30名(延べ247名) 事業費 197千円	高齢者を対象にした運動啓発事業である。参加者の体力レベル、当日の健康状態に留意しながら、今後も教室を続け参加者が運動に親しむよう継続して促していく。	
		実績の評価	総合評価	A
2 - (2)				
水に賢い子どもを育む 年間型活動プログラム (名久井小学校)	名川南小学校3・4年生を対象に、年間を通して「水」をキーワードに自然環境、安全学習、水生生物等についての体験や実験、物づくりを指導する。	実施場所 名久井小学校、如来堂川、馬淵川、海洋セ 実施回数 7回 参加児童 13名	年間を通して水に関わる活動を実施し、身近な自然環境に興味を持つ児童が増えた。各種活動後の児童の感想から、自然や生物についての意識の向上が見られた。参加児童は、積極的に活動しており、学習意欲も高く、事業の効果は大きい。今後は、他校にも事業展開を図るとともに、フィールドに合った内容を取り入れ、事業を充実していく。	
		実績の評価	総合評価	A
2 - (2)				
小学校国内交流 事業 (名川南小学校)	名久井小学校4年生を対象に、年間を通して「水」をキーワードに自然環境、安全学習、水生生物等についての体験や実験、物づくりを指導する。	実施場所 名川南小学校プール、如来堂川、馬淵川 実施回数 5回 参加児童 38名 事業費 5千円	年間を通して水に関わる活動を実施し、身近な自然環境に興味を持つ児童が増えた。各種活動後の児童の感想から、自然や生物についての意識の向上が見られた。参加児童は、積極的に活動しており、学習意欲も高く、事業の効果は大きい。今後は、他校にも事業展開を図るとともに、フィールドに合った内容を取り入れ、事業を充実していく。	
		実績の評価	総合評価	A
2 - (2)				

B & G海洋センター関係 No. 2

事務事業名 就学指導委員会 委託事業	事務事業の概要(内容)	事務事業の実施状況	評価 (事業の評価・今後の方向性)	
マリンスポーツ体験学習会	<p>町内小学生が一堂に会し、海洋性スポーツを通じて人間性と体力向上を図るとともに、心の豊かさを育てることを目的とする。</p> <p>岩手県山田町B & G海洋センターの協力を得て、海洋性レクリエーション体験や安全学習、養殖場の見学などを実施している。</p>	実施日 8月10日～8月11日(1泊2日) 場所 岩手県山田町 対象 町内小学4～6年生 参加者数 15名 事業費 242千円 (自己負担105千円、補助金45千円)	実際に海で活動することにより、海の楽しさや危険な部分を肌で感じる事ができた。また、全て団体行動であるため、団体の中での個人のあり方や思いやりの重要性を感じることができた。夏休み期間は、学校行事や部活、小学生を対象にしたイベント等が多く、適当场時期に開催することができず、参加者が定員に満たない状況であり、できる限り児童が参加しやすい日程を確保し、チラシやポスターで情報を提供して参加者の増加を目指す。	
		実績の評価		総合評価
2 - (4)				
B & G海洋セミナー	<p>共同生活を通じて、異世代間のコミュニケーションについて学ぶとともに、沖縄での海洋性レクリエーションや自然体験活動を通して、海・船・海洋環境に係る理解を深める。</p> <p>・海洋性レクリエーション体験 ・自然体験活動 ・史跡見学等</p>	実施日 8月2日～8月6日(4泊5日) 場所 沖縄県北部地区 対象 小学校5年生～中学校3年生 参加者数 3名 事業費 旅費 41千円 補助金 156千円	参加者の感想文や保護者の話からも自然環境や海洋性レクリエーションなどに対する意識の高揚が感じられた。また、多世代との集団生活や活動を通じて、礼節などの社会性を身に付けることができた。定員3名の募集に対して8名の申し込みがあり、対象者からの関心は高い。海洋性レクリエーションはもちろんのこと、沖縄の自然環境や安全知識を学習できるため、今後も継続すべきと考える。	
		実績の評価		総合評価
2 - (2)(4)				
B & G会長杯三戸郡下中学校バレーボール大会	<p>バレーボールを愛好し、大会を通して学校相互の親睦と技術の向上を図る。</p>	実施日 4月25日～4月26日 場所 町立名川中学校 対象 三戸郡内中学校バレーボール部 参加者数 男子3チーム、女子7チーム 事業費 食料費 23千円 消耗品費 19千円	大会当日は、参加中学校の監督・コーチ及び町バレーボール協会により運営されているため、選手の技術のみならず、町バレーボール協会員の資質向上にもつながっている。三戸郡中学校体育連盟との共催で春季青森県大会の予選会にもなっているため、三戸郡内の全中学校バレーボール部が参加し、交流を深めるとともに技術を磨いている。今後も生涯及び競技スポーツを振興していきたい。	
		実績の評価		総合評価
2 - (4)				

学校施設管理 事業

B & G海洋センター関係 No, 3

事務事業名 学校教育指導の重点との関連	事務事業の概要(内容)	事務事業の実施状況		評価 (事業の評価・今後の方向性)	
B & Gスポーツ大会青森県大会	B & G財団地域海洋センター青森県連絡協議会の主催事業で、B & G地域海洋センター及びB & G海洋クラブで練習を行っている青少年を主たる対象に海洋性レクリエーションを中心としたマリンスポーツ大会を開催し、海事思想の普及・海洋性レクリエーションの振興を図るとともに、体力の向上に寄与し、各センター・クラブ相互の連携と親睦を図る。	実施日 8月4日 場所 弘前市 対象 町内小学6年生 参加者数 6名 事業費 旅費 38千円 補助金 32千円		町内の小学6年生が参加し、他市町村の選手と競技を通じて交流を深めるとともに、競技力向上にもつながった。当該大会の参加者を増やして競技力向上を図っていくとともに、水泳教室等を活用し普及促進を図る。	
		2 - (4)	実績の評価		総合評価
B & Gクリーンフェスティバルinなんぶ	海洋性レクリエーションの普及、水辺地域の環境保全の意識付けを図る。 ・カヌー体験 ・水中スポーツ ・海洋センター周辺及び如来堂川の清掃活動	実施日 7月24日 場所 海洋センター及び如来堂川 対象 町内小学校4年生～小学6年生 参加者数 11名		郷土の自然環境の一部を知り、清掃活動を行うことで水辺の環境保全の意識付けが図られた。また、川でのカヌーや川流れ体験により、郷土の自然を普段とは違う角度から感じる事ができた。今後も環境と生物の調査や海洋性レクリエーションを通して、清掃活動の重要性を自己で感じ取れるようなプログラムを実施していく。	
		2 - (2)(4)	実績の評価		総合評価
初心者水泳教室	水や水泳をよく理解してもらい、水泳に対する興味を持ってもらう。	実施日 7月27日、28日、30日、41日 場所 海洋センタープール 対象 町内小学1年生～3年生 参加者数 20名(延べ76名)		参加者のレベルに合わせた指導に心がけ、水の楽しさ、泳げる喜びを感じることができた。定員20名の募集に対して、倍の申し込みがあり、対象者や保護者の関心は高い。今後は日程を確保して定員を増やしていきたい。	
		2 - (4)	実績の評価		総合評価

事務事業毎個別評価表

学校給食重点目標

給食センター関係 No, 1

事務事業名 学校教育指導の重点との関連	事務事業の概要(内容)	事務事業の実施状況	評価 (事業の評価・今後の方向性)	
心の教室相談員・ スクールサポーター 配置事業	より安全・安心のおいしい給食を目指す。	・安全、安心な食材の選定に努め、献立に工夫をこらし、子ども達に喜ばれる給食を提供した。 ・施設は、ドライ運用に努め、調理従事者の衛生管理を徹底し、事故・食中毒の防止を徹底した。	・より安全、安心な給食提供のため、季節毎に、地場産品の新鮮な食材を選定し、また、地場産品以外でも産地、栄養価、有害物質等の評価・管理といった調査研究を行い、安全安心な食材の選定することができた。さらに、調理従事者の衛生管理を徹底することで、食中毒の無い安全・安心な給食を提供できている。	
			4 - (1)	実績の評価
給食の供給事業	栄養バランスのとれた食事内容の充実を図る。	偏った栄養摂取、朝食欠食など食生活の乱れや、肥満・痩身傾向など、子供達の健康を取り巻く問題が深刻化している現代社会において、子供達に食に関する正しい知識と、望ましい食習慣を身につけさせるため、学校に出向き児童・生徒及び保護者に対する栄養指導を行っている。また、給食の時間には当日の献立の栄養効果等の放送原稿を作成し、各学校に配布し栄養指導などを行っている。	偏った栄養摂取が無くなるように、給食の時間を利用して食に関する指導、学校給食の役割などを理解して貰えた。	
			4 - (2)	実績の評価
小学校国内交流 事業	手作りの料理を心がける。	学校給食は、栄養のバランスを考えながら献立を工夫し、美味しく・残さず食べれるように努めた。また、食材については、出来る限り手切りにし、レトルト食品に関しては手を加えるように努力した。	児童生徒の正しい食事の在り方と、望ましい食習慣を身に付けさせるため、給食を「生きた教材」として活用するとともに、栄養のバランスを考えながら手作りの料理を工夫し、献立に活用することができた。	
			4 - (3)	実績の評価

給食センター関係 No, 2

事務事業名 就学指導委員会 委託事業	事務事業の概要(内容)	事務事業の実施状況	評価 (事業の評価・今後の方向性)	
給食の供給事業	伝統食、郷土食を取り入れ、季節感を大切に する。	社会の近代化とともに食文化が大きく変化し、伝統食・郷土食が失われる傾向にあり、学校給食に伝統食・郷土料理を提供することにより、地域の歴史や文化を後世に伝えることが必要である。	学校給食に食文化・郷土食・伝統食をとりいれることにより、より身近に実感を持って、地域の自然・食文化・産業等についての理解を深めることが出来た。	
			実績の評価	
4 - (4)				
給食の供給事業	地元の産物を活用しながら、地域との連携を大切に する。	地産地消により、新鮮で安心な食材を供給するとともに、子供達に育った地域の季節感を伝える。	地場産物を給食に用いることにより、地域の産業等に対する興味、関心を高めるとともに、当地域の特産物を季節毎に使用することで、季節感・旬の食材を覚える。さらに、地域で生産された産物を使用することで、より新鮮で安全安心な給食を供給するとともに、地域産業の活性化にもつながった。	
			実績の評価	
4 - (5)				

平成21年度教育委員会活動の状況

1) 教育委員会委員名簿

平成22年3月15日現在

職名	氏名	備考
教育委員長	宮本佳悦	(新) H18.3.16～H21.3.15 (再) H21.3.16～H25.3.15
教育委員長職務代行者	中村祐子	(新) H18.3.16～H19.3.15 (再) H19.3.16～H23.3.15
委員	赤平 實	(新) H18.3.16～H22.3.15
委員	山田義雄	(新) H20.4.1～H24.3.31
教育長	角濱清輝	(新) H18.3.16～H22.3.15

2) 教育委員会委員名簿

平成23年3月15日現在

職名	氏名	備考
教育委員長	境久孝	(新) H22.4.5～H26.4.4
教育委員長職務代行者	中村祐子	(新) H18.3.16～H19.3.15 (再) H19.3.16～H23.3.15
委員	佐藤俊男	(新) H22.4.5～H26.4.4
委員	宮本佳悦	(新) H18.3.16～H21.3.15 (再) H21.3.16～H25.3.15
教育長	山田義雄	(新) H20.4.1～H24.3.31

2) 教育委員会会議の状況

会議名	日時	場所	出席委員	会期	案件	
第45回南部町教育委員会会議定例会	H21.4.22 pm3:00	南部分庁舎 3階第2会議室	5名	1日	報告	報告第1号 区域外就学の承諾について
						報告第2号 通学区域外就学の承諾について
					議事	議案第1号 平成21年度準要保護児童生徒の認定について
						議案第2号 南部町立学校学校医、学校歯科医及び学校薬剤師に関する規則の一部を改正する規則の制定について
						議案第3号 南部町立学校給食センター設置条例の一部を改正する条例の制定について
						議案第4号 南部町立学校給食センター設置条例施行規則の一部を改正する規則の制定について
					議案第5号 南部町教育委員会文書公印規程の一部を改正する訓令の制定について	
協議事項	協議第1号 平成21年度南部町教育大会について					
第46回南部町教育委員会会議定例会	H21.5.28 pm3:00	南部分庁舎 3階第2会議室	5名	1日	報告	報告第3号 区域外就学の承諾について
						報告第4号 平成21年度準要保護児童生徒の認定(追加)について
						報告第5号 工事請負契約の締結(南部町立向小学校屋内運動場耐震改修工事)について
						報告第6号 財産の取得(南部町立学校給食センター給食配送用自動車売買契約の締結)について
						追加報告第7号 通学区域外就学の承諾について
					議事	議案第6号 平成21年度準要保護児童生徒の認定について
						議案第7号 南部町立学校給食センター運営委員会委員(補充)の委嘱について
						議案第8号 南部町社会教育委員(補充)の委嘱について
					議案第9号 南部町公民館運営審議会委員(補充)の委嘱について	
					協議事項	
第47回南部町教育委員会会議定例会	H21.6.24 pm3:00	南部分庁舎 3階第2会議室	5名	1日	報告	報告第8号 区域外就学の承諾について
						報告第9号 平成21年度準要保護児童生徒の認定解除について
						報告第10号 工事請負契約の締結(ふるさと運動場公園整備土木工事)について
						報告第11号 平成21年度南部町教育予算(6月補正)について
					議事	議案第10号 南部町立幼稚園保育料等徴収条例施行規則の一部を改正する規則の制定について
						議案第11号 南部町奨学基金の貸付について
					協議事項	協議第2号 南部町私立幼稚園就園奨励費補助金交付規程の一部を改正する氣息の制定について
協議第3号 南部町立学校学校評議員取扱要綱の制定について						
第48回南部町教育委員会会議定例会	H21.7.22 pm3:00	南部分庁舎 3階第2会議室	5名	1日	報告	報告第12号 平成21年度準要保護児童生徒の認定(追加)について
						報告第13号 区域外就学の承諾について
					協議事項	
第49回南部町教育委員会会議定例会	H21.8.26 pm3:00	南部分庁舎 3階第2会議室	5名	1日	議事	議案第12号 南部町立学校学校医、学校歯科医及び薬剤師の委嘱について
						議案第13号 南部町文化賞、南部町スポーツ表彰審査委員の委嘱について
					追加議案第14号 区域外就学の承諾について	
協議事項						

第50回南部町教育委員会会議定例会	H21.9.30 pm3:00	南部分庁舎 3階第2会議室	5名	1日	報告	報告第14号 区域外就学の承諾について					
						報告第15号 平成21年度準要保護児童生徒の認定解除について					
						報告第16号 平成21年度準要保護児童生徒の認定(追加)について					
						報告第17号 平成21年度教育予算(9月補正)について					
協議事項											
第51回南部町教育委員会会議定例会	H21.10.14 pm3:00	南部分庁舎 3階第2会議室	5名	1日	報告	報告第18号 通学区域外就学の承諾について					
						報告第19号 平成21年度準要保護児童生徒の認定(追加)について					
協議事項											
第52回南部町教育委員会会議定例会	H21.11.18 pm3:00	南部分庁舎 3階第2会議室	5名	1日	報告	報告第20号 通学区域外就学の承諾について					
						報告第21号 平成21年度要・準要保護児童生徒の認定(追加)について					
						報告第22号 工事請負契約の締結について(南部公民館建築工事)					
						報告第23号 工事請負契約の締結について(ふるさと運動公園道路整備工事)					
						報告第24号 財産の取得について(ふるさと運動公園陸上競技場・サッカー場用器具)					
議事 議案第15号 南部町文化財の指定について											
協議事項											
第53回南部町教育委員会会議定例会	H21.12.16 pm3:00	南部分庁舎 3階第2会議室	4名	1日	報告	議案第25号 平成21年度南部町教育予算(12月補正)について					
						報告第26号 財産の取得について(福地・南部地区小学校コンピューター機器)					
						報告第27号 財産の取得について(南部町立中学校コンピューター機器)					
議事 議案第16号 区域外就学の承諾について											
議案第17号 平成22年度就学予定児童の通学区域外就学の承諾について											
協議事項											
第54回南部町教育委員会会議定例会	H22.1.15 pm3:00	3階第2会議室	5名	1日	報告	報告第28号 平成20年度準要保護児童生徒の認定(追加)について					
						議事 議案第18号 南部町文化賞・南部町スポーツ賞被表彰者の決定について					
						協議事項					
第55回南部町教育委員会会議定例会	H21.2.10 pm3:00	南部分庁舎 3階第2会議室	5名	1日	報告	報告第29号 平成21年度準要保護児童生徒の認定解除について					
						報告第30号 区域外就学の承諾について					
						議事 議案第19号 南部町立公民館条例の一部を改正する条例の制定について					
						議案第20号 南部町運動公園条例の一部を改正する条例の制定について					
						議案第21号 教育財産(剣吉公民館)の用途廃止について					
議案第22号 南部町立名川町民ホール条例の一部を改正する条例の制定について											
協議事項											

第56回南部町教育委員会 会議定例会	H21.3.26 pm2:00	南部分庁舎 3階第2会議室	3名	1日	報告	報告第31号 平成21年度南部町教育予算(3月補正)について
						報告第32号 平成22年度南部町教育予算(当初)について
						報告第33号 平成21年度要・準要保護児童生徒の認定(変更)について
						報告第34号 区域外就学の承諾について
						報告第35号 南部町文化財保存事業補助金交付要綱の制定について
					議事	議案第23号 南部町外国語指導員の公舎に関する規則の制定について
						議案第24号 平成22年度要・準要保護児童生徒の認定について
						議案第25号 平成22年度南部町教育方針について
						議案第26号 南部町立公民館条例施行規則の一部を改正する規則の制定について
						議案第27号 南部町立名川町民ホール条例施行規則の一部を改正する規則の制定について
					協議事項	議案第28号 南部町立学校学校医、学校歯科医及び学校薬剤師の委嘱について
						協議第4号 南部町教育委員会の事務の点検及び評価報告書について
	協議第5号 平成22年度南部町教育大会について					

3)その他の活動

月	日	活動・行事名	場所
4月	7日	小学校8校 中学校4校入学式	各小中学校
	8日	名川・南部幼稚園入園式	各幼稚園
	22日	第45回教育委員会議	南部分庁舎
	24日	南部町教育大会	町民ホール
	26日	うぐいすマラソン	ふくち運動公園
	28日	三戸郡教育振興会監査委員会	八戸市 町村会館
5月	17日	南部中学校体育祭	南部中学校
	22日	青森県市町村教育委員会連絡協議会定時総会	青森市 総合教育センター
	23日	杉沢小・中学校運動会 福地小運動会	杉沢小学校・福地小学校
	24日	剣吉小学校運動会	剣吉小学校
	28日	第46回教育委員会議	南部分庁舎
	30日	向小学校運動会	向小学校
	31日	南部・名川南小学校	南部・名川南小学校
6月	3日	福田小学校運動会	福田小学校
	9日	南部町中学校海外派遣事業保護者説明会	剣吉公民館
	14日	三戸郡総合体育大会開会式	ふれあい交流プラザ
	16日	南部町小学生陸上記録会	ふくち運動公園
	18日	三戸郡教育振興会理事会	八戸市 町村会館
	24日	第47回教育委員会議	南部分庁舎
7月	2日	三戸郡教育振興会総会・研修会	秋田県大館市
	3日	三戸郡教育振興会研修会	秋田県大館市
	10日	東北6県市町村教育委員会連合会教育委員・教育長研修会	青森市文化会館
	22日	第48回教育委員会議	南部分庁舎
8月	2日	第54回北奥羽少年剣道大会	町民体育館
	26日	第49回教育委員会議	南部分庁舎
	30日	福地中学校体育祭	福地中学校
9月	27日	南部七唄七踊り全国大会	町民ホール
	30日	第50回教育委員会議	南部分庁舎
10月	11日	町民運動会	南部中学校
	14日	第51回教育委員会議	南部分庁舎
	22日	三戸郡教育振興会理事会	郡町村会館
	28日	三戸郡教育振興会教育委員秋季研修会	三戸町
11月	18日	学校訪問	
		第52回教育委員会議	南部分庁舎
12月	16日	第53回教育委員会議	南部分庁舎
1月	15日	第54回教育委員会議	南部分庁舎
2月	5日	三戸郡教育振興会理事会	三戸郡町村会館
	10日	第55回教育委員会議	南部分庁舎
	13日	南部町文化賞・スポーツ賞表彰式	中央公民館
	25日	三戸郡教育振興会平成21年度定期総会	三戸郡町村会館
3月	10日	福地・名川・南部中学校卒業式	各中学校
	18日	南部幼稚園卒園式	南部幼稚園
	19日	福地・向小卒業式	各小学校
	20日	南部小学校卒業式	南部小学校
	24日	剣吉小学校卒業式・名川幼稚園卒園式	剣吉小学校・名川幼稚園
	26日	第56回教育委員会議	南部分庁舎

点検評価アドバイザー(学識経験者)による意見

南部町教育委員会の事務の点検及び評価報告書を、南部町の教育方針、学校教育指導の方針と重点および社会教育指導の方針と重点にかんがみ、拝見したので、所見の一端を述べます。

はじめに、特記すべき事項として

1. 「特色ある学校づくり」として、町当局が厳しき財政事情にもかかわらず、町独自の支援を実施していること、教育にかける並々ならぬ心意気を感じる。
2. 度重なる教育改革や教育思潮から、「開かれた学校...」とか「特色ある学校づくり...」等への理解を一層深めることや変遷する学習指導要領から「不易と流行」を読みとり、「不易」なる事項への重点化と流行とのバランスを図ることが一層求められる。
3. 「子育ては社会総がかり」への啓発活動と「生涯学習社会」の具現化に一層努める。

具体的には、

1. 町民の声・ニーズをアンケート等の手法で収集し、事業のマンネリ化防止、事業のスリム化や重点化および運営等に生かしている。
2. 教育委員会内部における事業の狙い・目的等にかんがみ、統合化等がわずかながら進められている。事業数が多少減じている。
この事については、町当局における事業との重複などを吟味する必要がある。
3. 諸事業の開催時期については、一層の吟味が必要である。また、運営等については、高度な研究を要するものもあり、町当局との話し合いも必要と考える。
4. 各事業の広報活動と申し込みの簡易化の工夫が必要である。
5. 事業によっては、参加人数の減少による評価は、本来の狙い・目的を逸脱する可能性がある。活動内容等々をよく見届ける必要がある。
6. 「特色ある学校経営」について、学校教育の最大の責務、生きる力としての基礎学力の向上に果敢に挑戦している学校も見受けられる。
7. 「特色ある学校経営」について、「学校教育の最大の責務は何か？」を常に変遷する学習指導要領から、不易と流行を読みとることで、一目瞭然。不易なる「基礎学力の向上」を

最重点に、流行とのバランスを取る。それに見合う時間や経費を手当てしているかの視点を大事にする。ややもすれば、流行に目が奪われバランスを欠く傾向が無きにしても非ず、注意が必要である。

終わりに

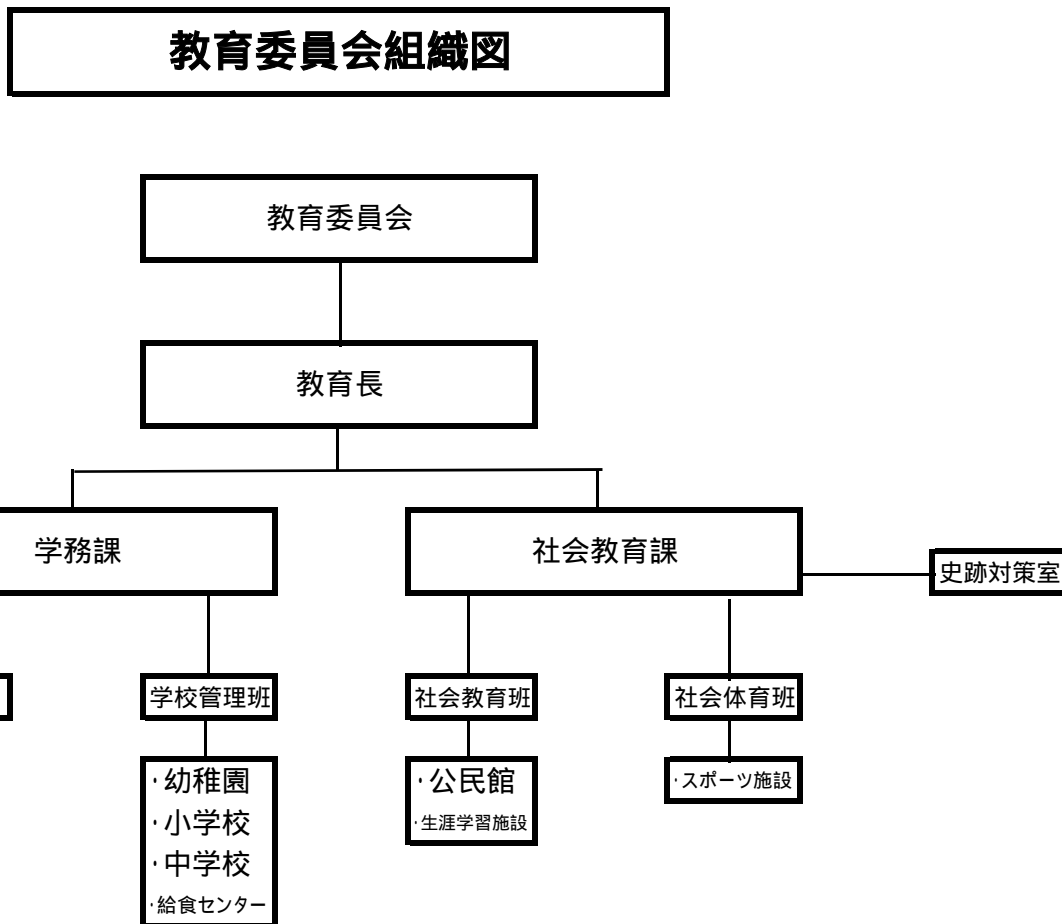
1. 学校教育においては、各種の資料をもとに落ち込みへ、即、手を打ち、回復を目指すこと。この繰り返しこそ日々の教育活動である。低学力対策は必須事項である。
2. 学校教育と社会教育(家庭教育・企業内教育を含む)を連携することで、一層教育成果を高めることが可能であり、町内がいよいよ活気づく。さらなる発展が期待される。

南部町教育委員会の事務の点検評価アドバイザー

平 山 幹 雄

工 藤 光 行

教育委員会事務局の組織の状況



教育委員会事務局の活動の状況

部署名	室・班名	業務の内容
学務課	総務班	1. 教育委員会の会議に関する事 2. 教育委員会及び学校その他の教育機関の職員の任免 その他人事に関する事。 3. 公印の保管に関する事。 4. 文書の收受、発送、管理、保存及び廃棄に関する事。 5. 教育予算の編成及び執行に関する事。 6. 県費負担職員の任免その他人事に関する事。 7. 学校その他の教育機関の設置、管理及び廃止に関する事。 8. 教育財産の管理に関する事。 9. 教育委員会規則等の制定又は改廃に関する事。 10. 基幹統計及び教育に係る調査その他の統計に関する事。 11. 県教育委員会その他の関係機関との連絡調整に関する事。 12. 他の班の所掌に属しない事務に関する事。
	学校管理班	1. 校舎その他の施設及び教具その他の設備の整備に関する こと。 2. 学校施設台帳の整備保管に関する事。 3. 教育内容及びその取扱いに関する事。 4. 教科用図書の新採及び給与に関する事。 5. 学習効果の評価に関する事。 6. 校長及び教員その他教育関係職員の研修に関する事。

学務課	学校管理班	<ul style="list-style-type: none"> 7. 校長及び教員その他教育関係職員並びに児童、生徒の安全、厚生及び福利に関すること。 8. 学校給食に関すること。 9. 児童及び生徒の就学に関すること。 10. 学校保健に関すること。 11. 学校図書館に関すること。 12. 義務教育費国庫負担事務に関すること。 13. 学校の産業教育、理科教育及びへき地教育の振興に関すること。 14. 幼稚園に関すること。 15. 児童及び生徒の交流に関すること。 16. 奨学金に関すること。 17. その他学校教育に関すること。
社会教育課	社会教育班	<ul style="list-style-type: none"> 1. 公民館その他社会教育機関の設置、管理及び廃止に関すること。 2. 社会教育委員、公民館運営審議会及び文化財審議委員に関すること。 3. 各種教室及び学級その他社会教育講座に関すること。 4. 社会教育関係団体の指導育成に関すること。 5. 社会教育資料の刊行及び配布並びに情報の交換、調査研究に関すること。 6. 文化財の保護に関すること。 7. 郷土芸能の伝承に関すること。 8. 社会教育のために必要な設備、機材及び資料の提供に関すること。 9. ユネスコ活動に関すること。 10. コミュニティーに関すること。 11. ボランティアに関すること。 12. 青少年教育に関すること。 13. 青少年健全育成に関すること。 14. 家庭教育に関すること。 15. 婦人教育に関すること。 16. 男女共同参画事業に関すること。 17. 生涯学習推進事業に関すること。 18. 文書の收受、発送、管理、保存及び廃棄に関すること。 19. その他社会教育に関すること。
	社会体育班	<ul style="list-style-type: none"> 1. 体育・スポーツの振興に関すること。 2. 体育指導員に関すること。 3. 体育関係団体の指導育成に関すること。 4. 体育施設の管理運営及び整備に関すること。 5. 運動公園の管理運営及び整備に関すること。 6. 町民運動会に関すること。 7. スポーツ教室及びスポーツ大会に関すること。 8. その他社会体育に関すること。
史跡対策室		<ul style="list-style-type: none"> 1. 南部氏関連城館整備検討委員会に関すること。 2. 南部氏史跡整備検討委員会に関すること。 3. 国指定史跡「聖寿寺館跡」保存管理に関すること。 4. 南部氏史跡の公有化に関すること。 5. 南部氏史跡発掘調査に関すること。 6. 南部氏史跡整備基本構想策定に関すること。 7. 南部氏史跡整備及び活用に関すること。 8. 南部氏史跡の周知に関すること。 9. 南部氏の文献調査及び研究に関すること。 10. 南部氏史跡対策室の経理事務に関すること。